

歯科診療報酬について  
- 在宅歯科医療の推進 -  
( 参考資料 )

# 訪問歯科診療の実際

訪問診療用ポータブルユニット



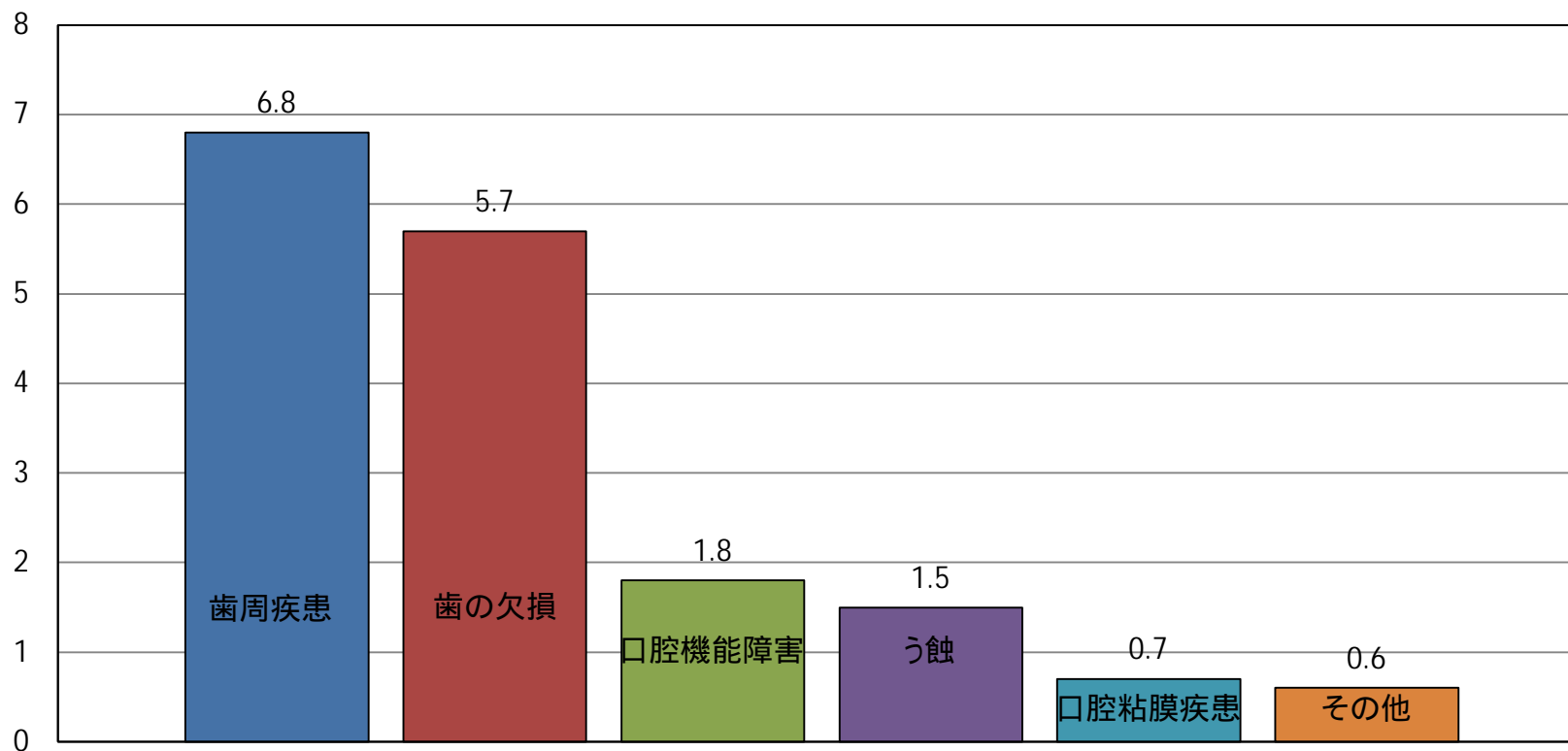
必要人員を確保した上で、ソファーに移動してもらっての診療



内科主治医が立ち会っての訪問歯科診療

## 訪問歯科診療における1施設当たりの歯科疾患別の月平均患者数

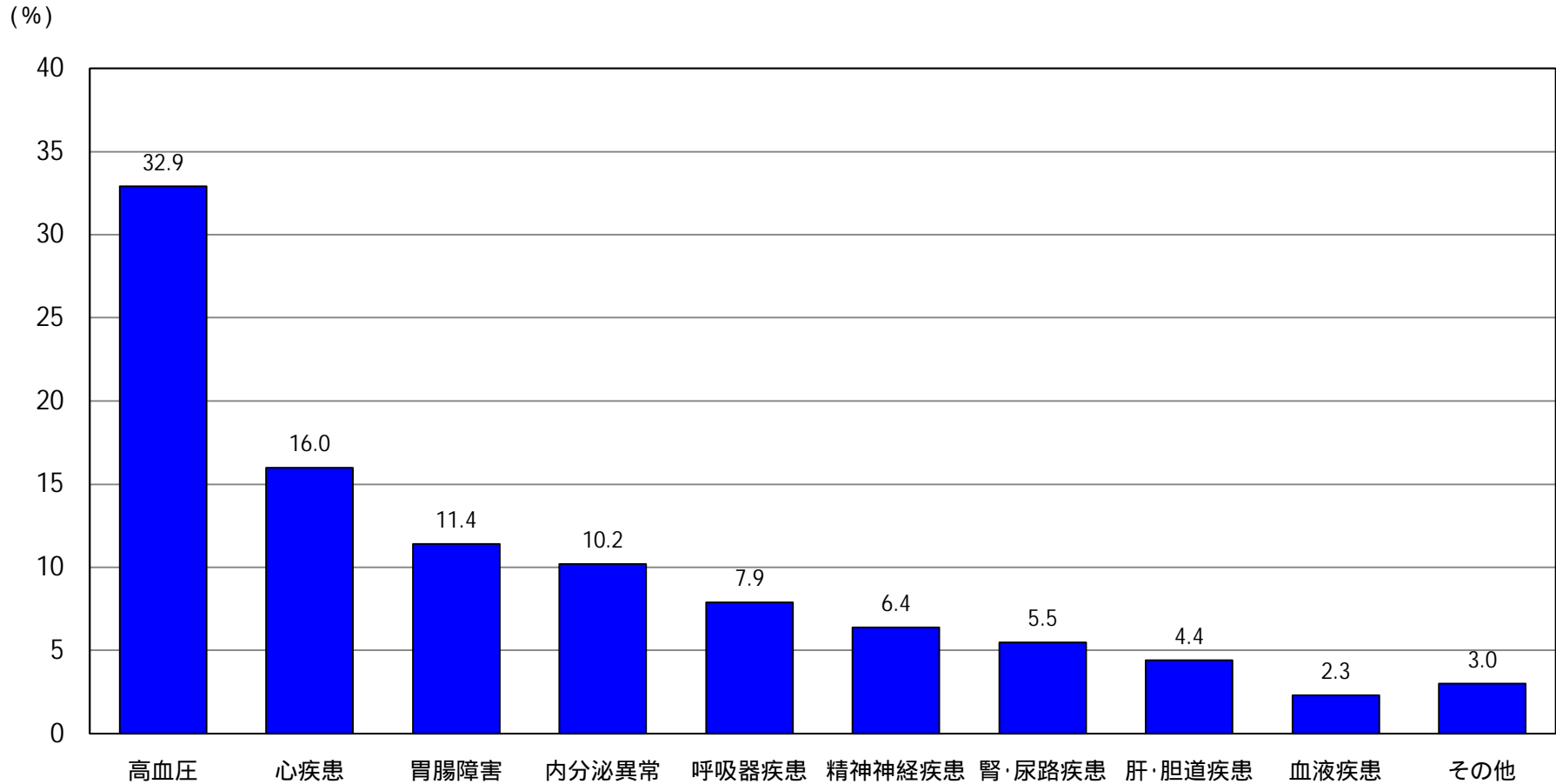
(人/月)



対象:有効回答のあった577施設(調査票送付数:無作為抽出した632施設)のうち、  
訪問歯科診療を実施していると回答のあった135施設

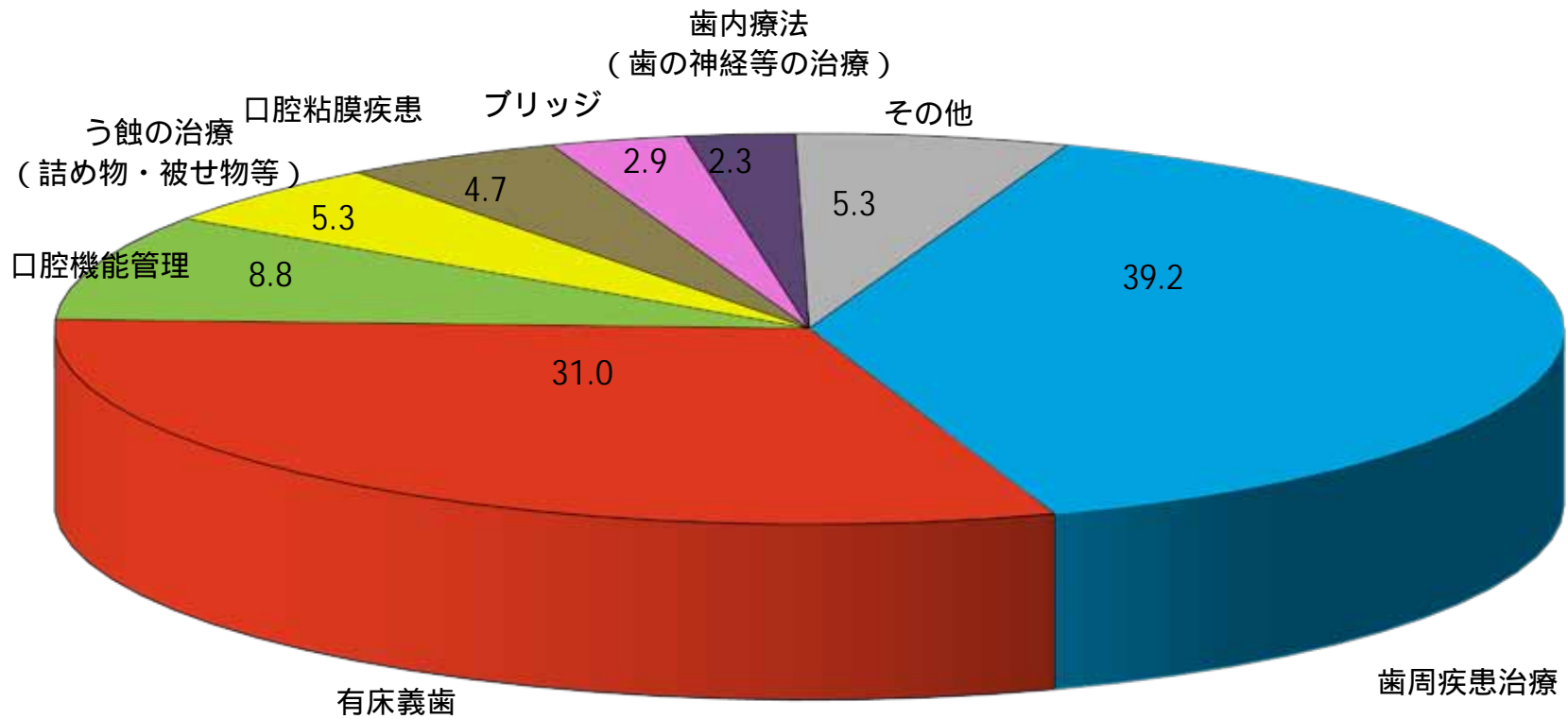
(平成21年度医療課調べ)

## 歯科疾患の高齢患者の全身疾患有病率



(道健一：高齢期の口腔管理と展望，日本歯科医学会雑誌，2002)

訪問歯科診療における1施設当たりの治療内容別の患者割合(%)

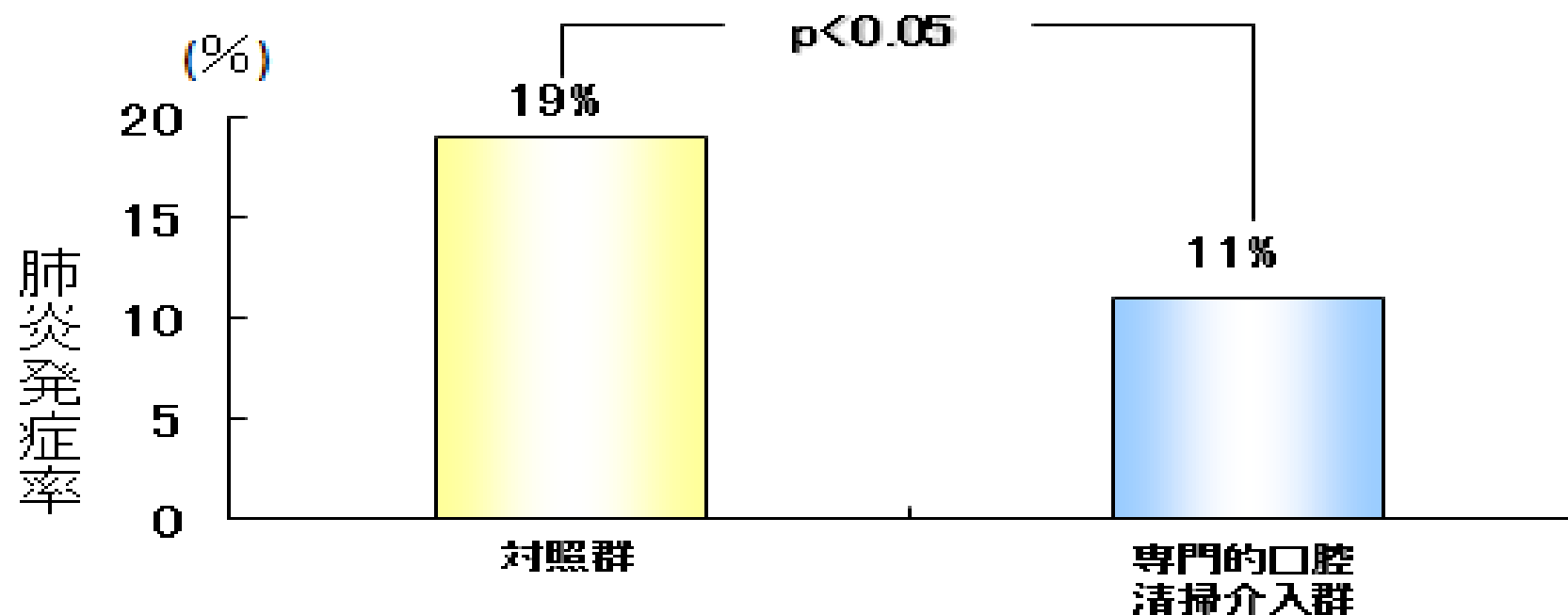


対象:有効回答のあった577施設(調査票送付数:無作為抽出した632施設)のうち、訪問歯科診療を実施していると回答のあった135施設

(平成21年度医療課調べ)



## 要介護者に対する専門的口腔清掃の効果 (2年間の肺炎発症率)



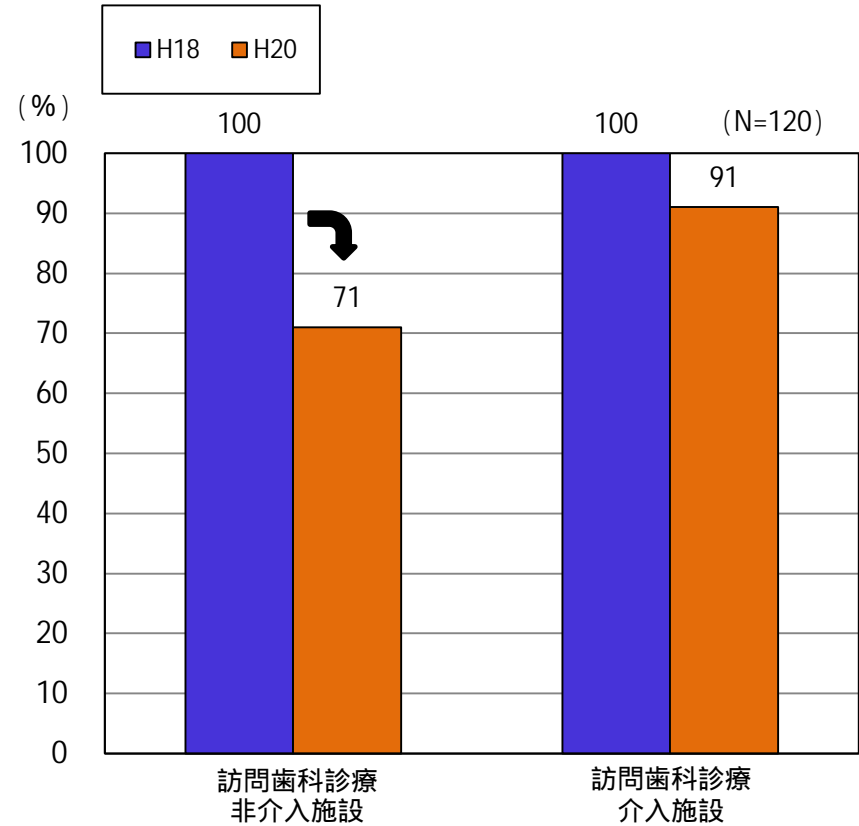
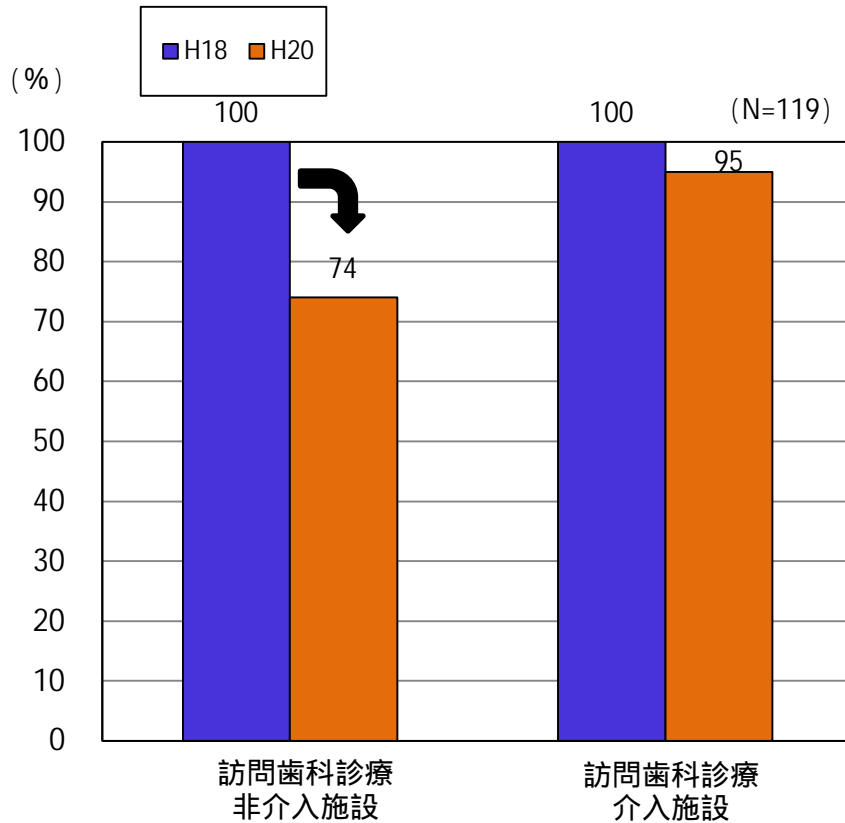
*Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H: Lancet 354(9177), 515, 1999.*

# 介護老人福祉施設における訪問歯科診療の効果

(義歯を使用している者の割合)

(上顎)

(下顎)



訪問歯科診療を行っていない施設では、義歯の使用を中止した者が多く、訪問歯科診療を行った施設では、義歯の使用を継続した者が多い。

(菊谷 武ら、特別養護老人ホームにおける継続的な口腔機能管理の効果、日本歯科医師会雑誌,2009)



## 要介護者の口腔状態と歯科治療の必要性

要介護者368名(男性:139名・女性:229名 平均年齢81.0±8.1)に対する調査  
無歯顎者(歯が1本もない者):39.1% 平均現在歯数:7.1本  
日常生活自立度が低下するほど、現在歯数は減少傾向にある。  
要介護度が高くなるほど、重度う蝕が多くなる傾向にある。  
義歯装着者は全体の77.2%で、その内、調整あるいは修理が必要なものが  
20.1%、新しい義歯を作製する必要があるものは38.0%  
また、要介護度が高くなるほど、歯科治療の必要性も高くなる傾向であった。  
歯科治療の必要性については、74.2%のものが「何らかの歯科治療が必要」であ  
り、その内容としては、補綴治療(義歯等の作製)、齲蝕治療、歯周治療の順であった。  
実際に歯科治療を受診した者は26.9%

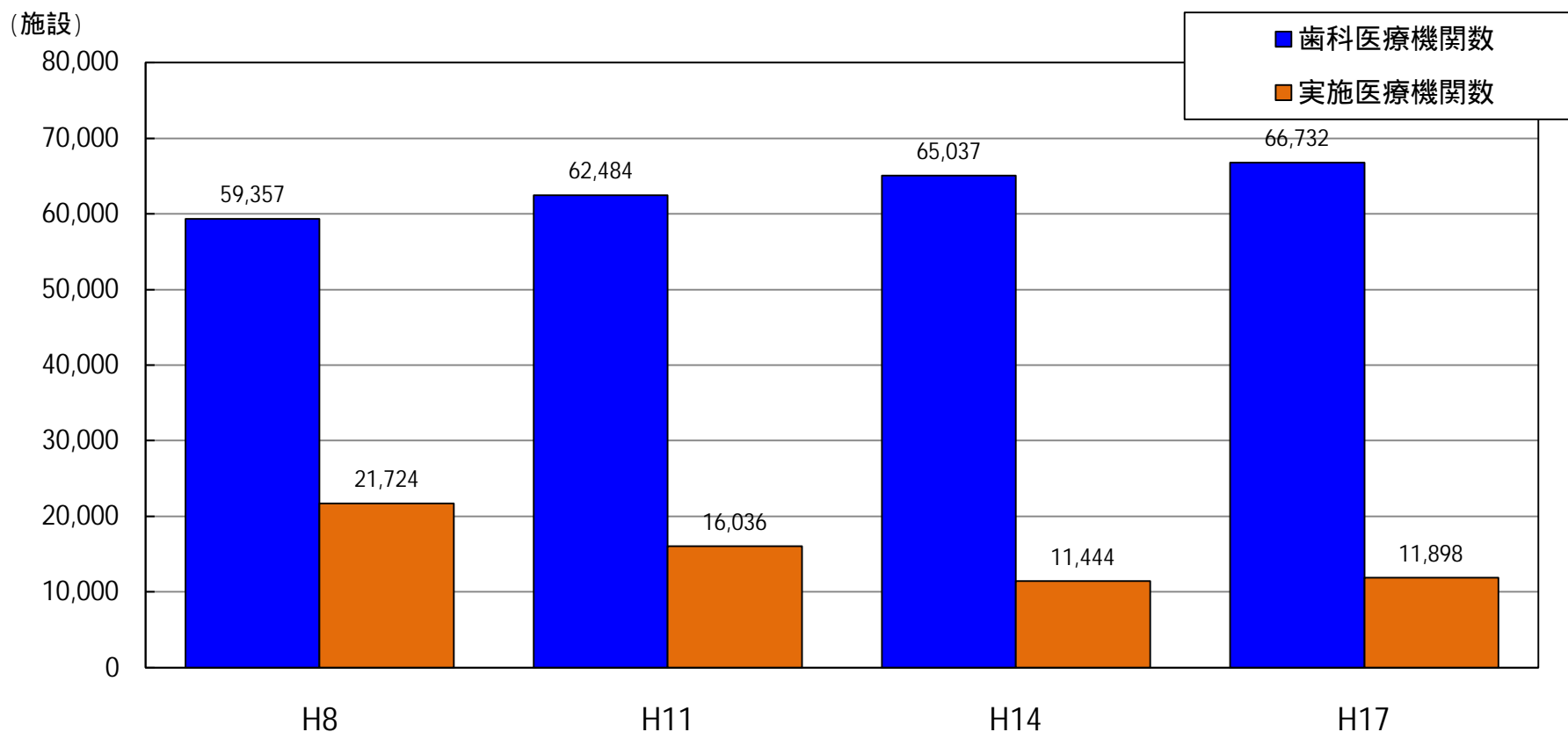


歯科医療の必要性と実際の受診には、おおきな隔たりがある。

出典:情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発に関する研究(平成14・15年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)。研究代表者:河野正司 新潟大学教授)

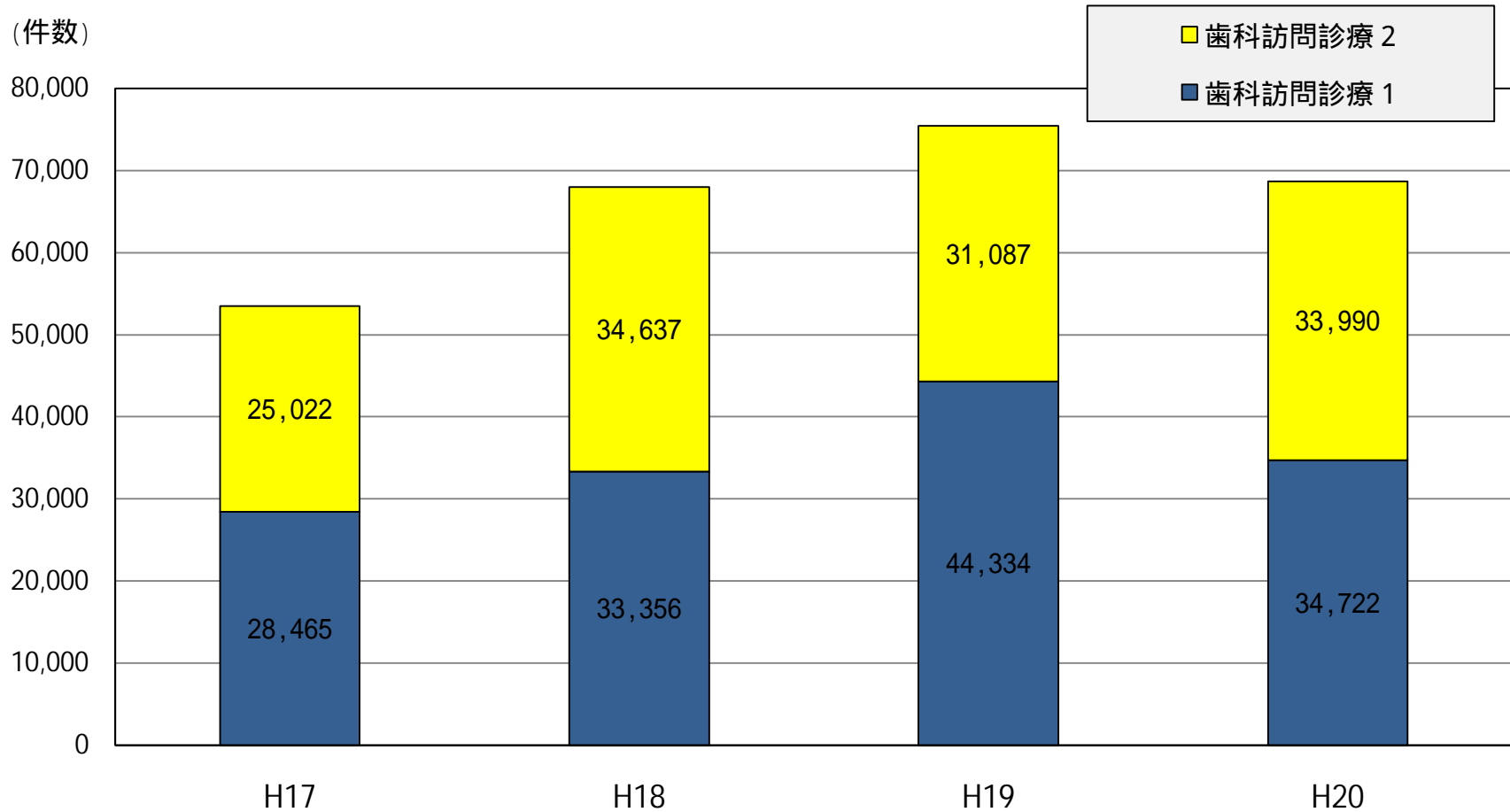
## 歯科訪問診療を実施している医療機関の割合の年次推移

在宅歯科医療を実施した歯科医療機関の割合は、約18% (H17医療施設調査)



(医療施設(静態・動態)調査・病院報告概況)

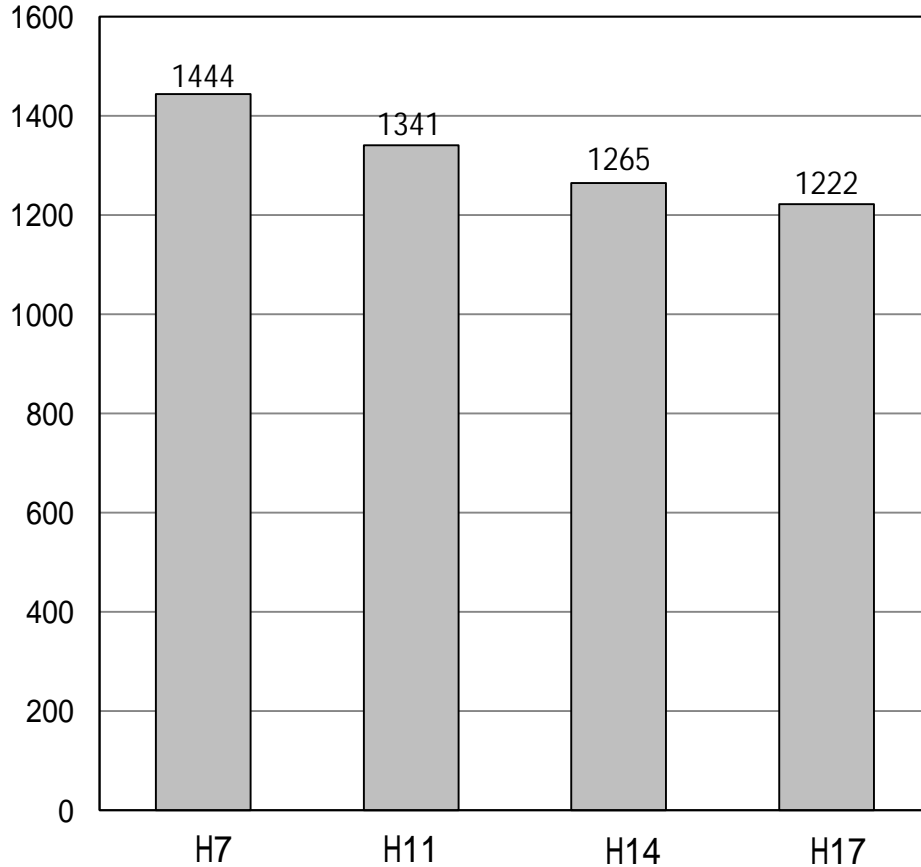
## 歯科訪問診療料の算定件数



(社会医療診療行為別調査; 6月審査分)

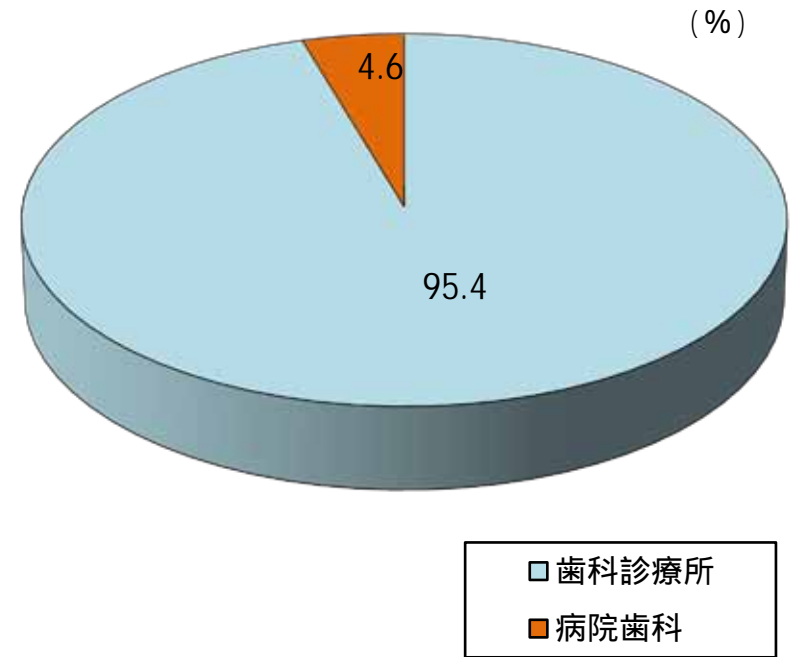
## 歯科を有する病院数の推移

(施設)



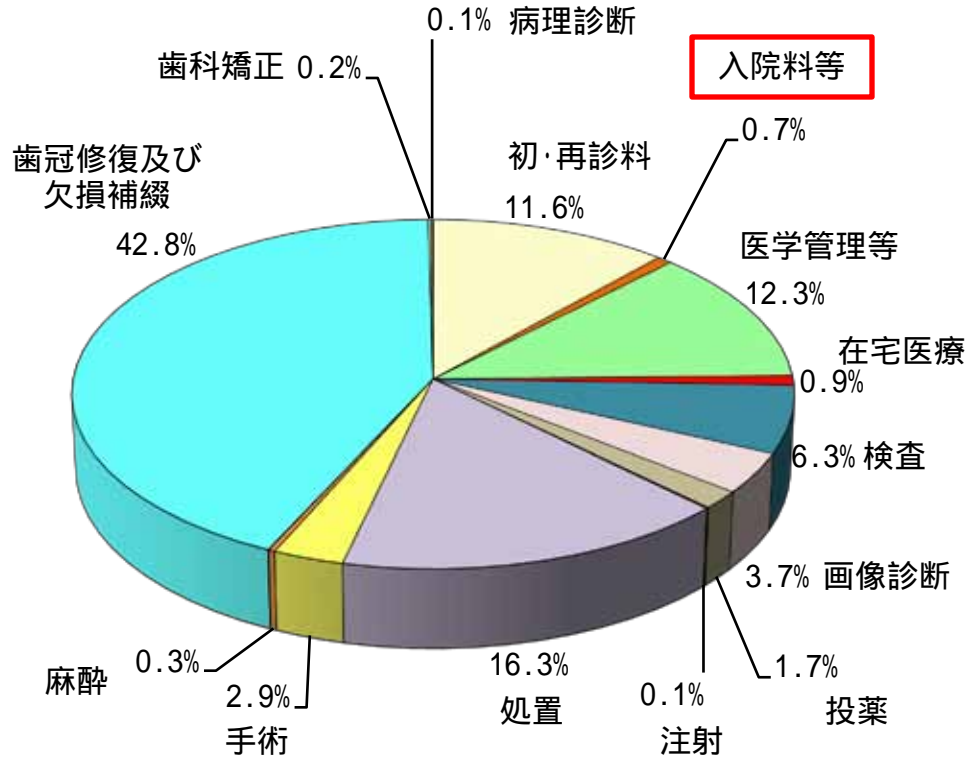
(医療施設調査)

## 歯科医療費の歯科診療所・病院歯科別構成割合

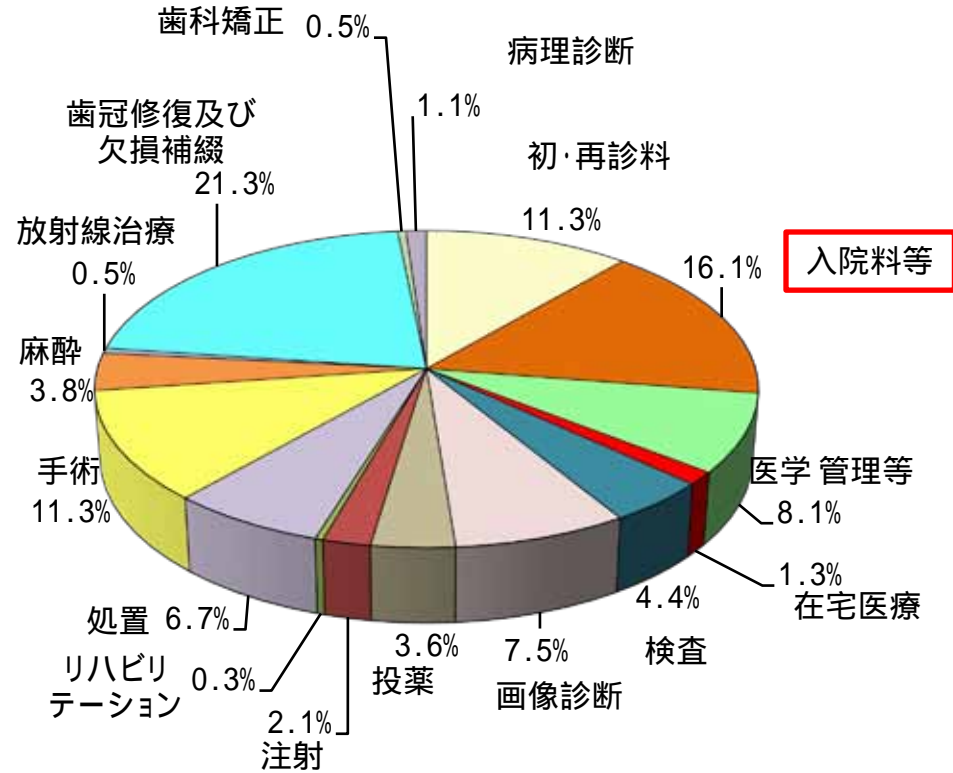


(社会医療診療行為別調査;平成20年6月審査分)

### 歯科医療機関全体の総点数の 診療行為別の内訳

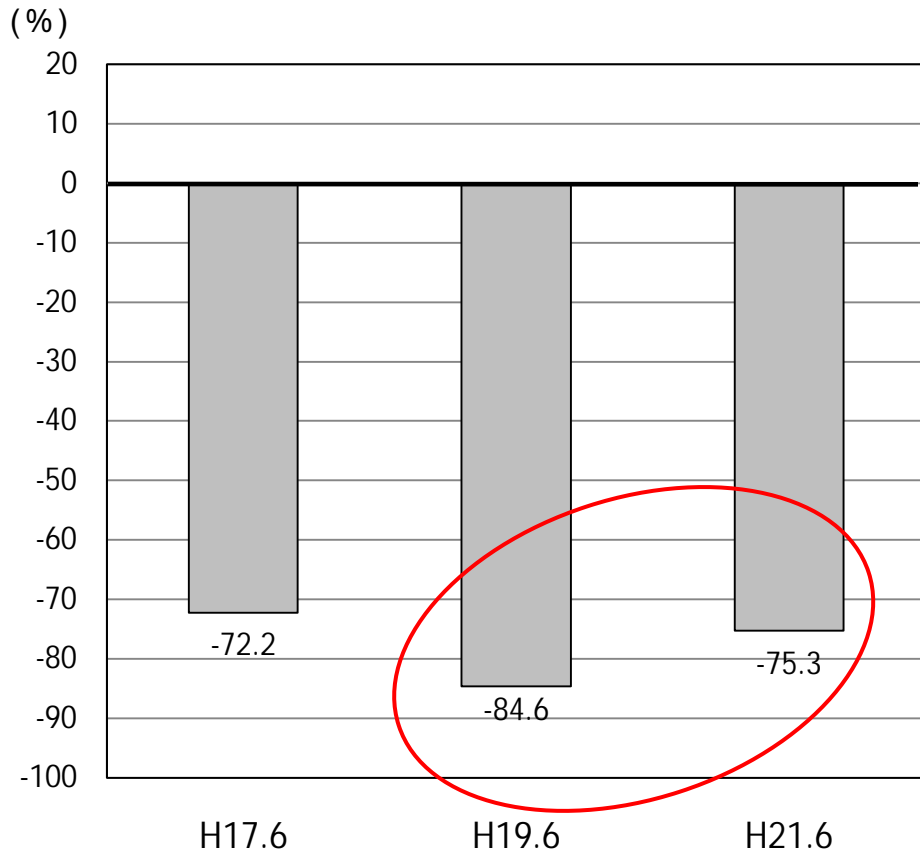


### 病院歯科の総点数の 診療行為別の内訳



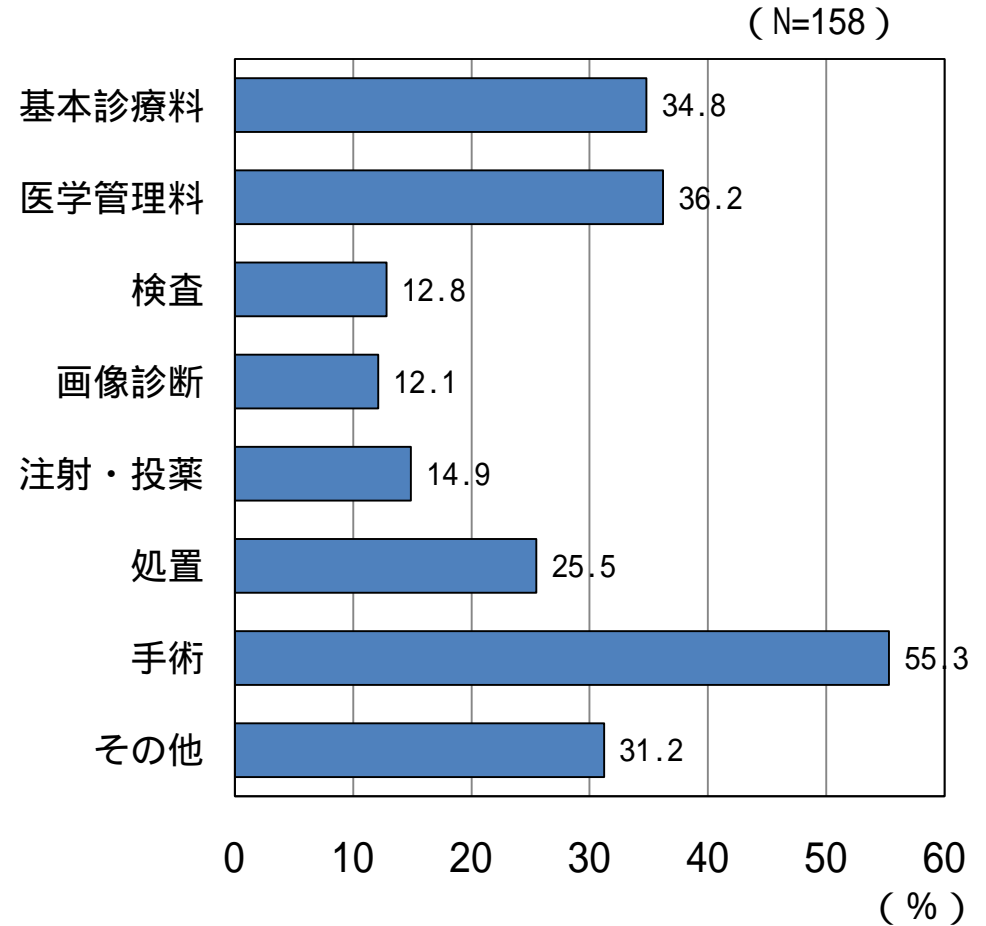
(社会医療診療行為別調査;平成20年6月審査分)

## 歯科大学病院の損益率



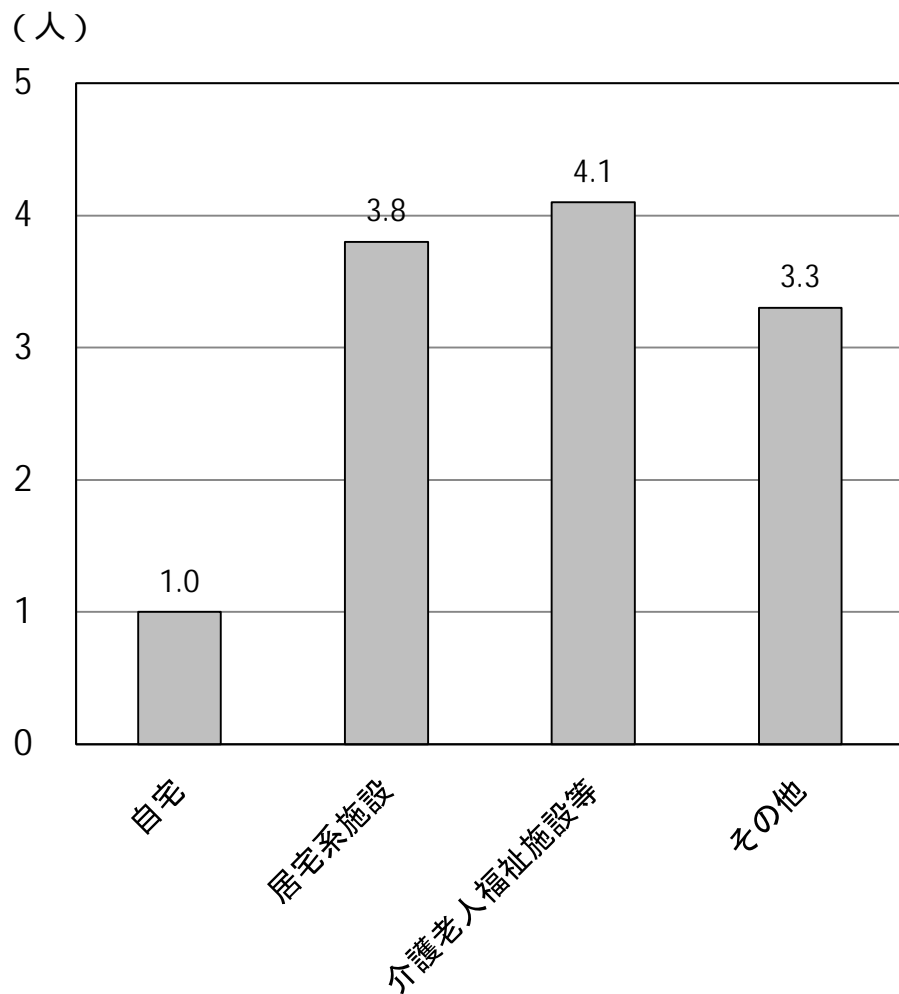
(平成21年度医療経済実態調査)

## 病院歯科の総収入変動に関連したと考えられる平成20年度歯科診療報酬改定項目(複数回答)

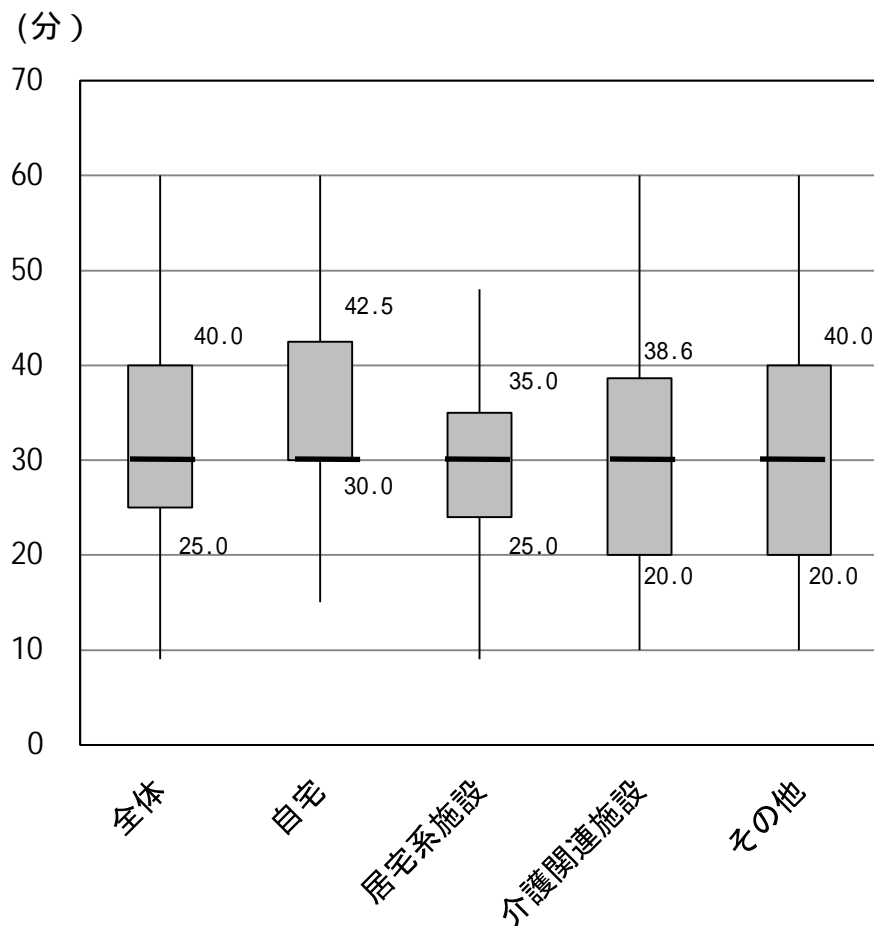


(平成20年4月診療報酬改定による大学歯科口腔外科・病院歯科影響調査報告書; 日本口腔外科学会)

## 1回当たりの訪問歯科診療の患者数



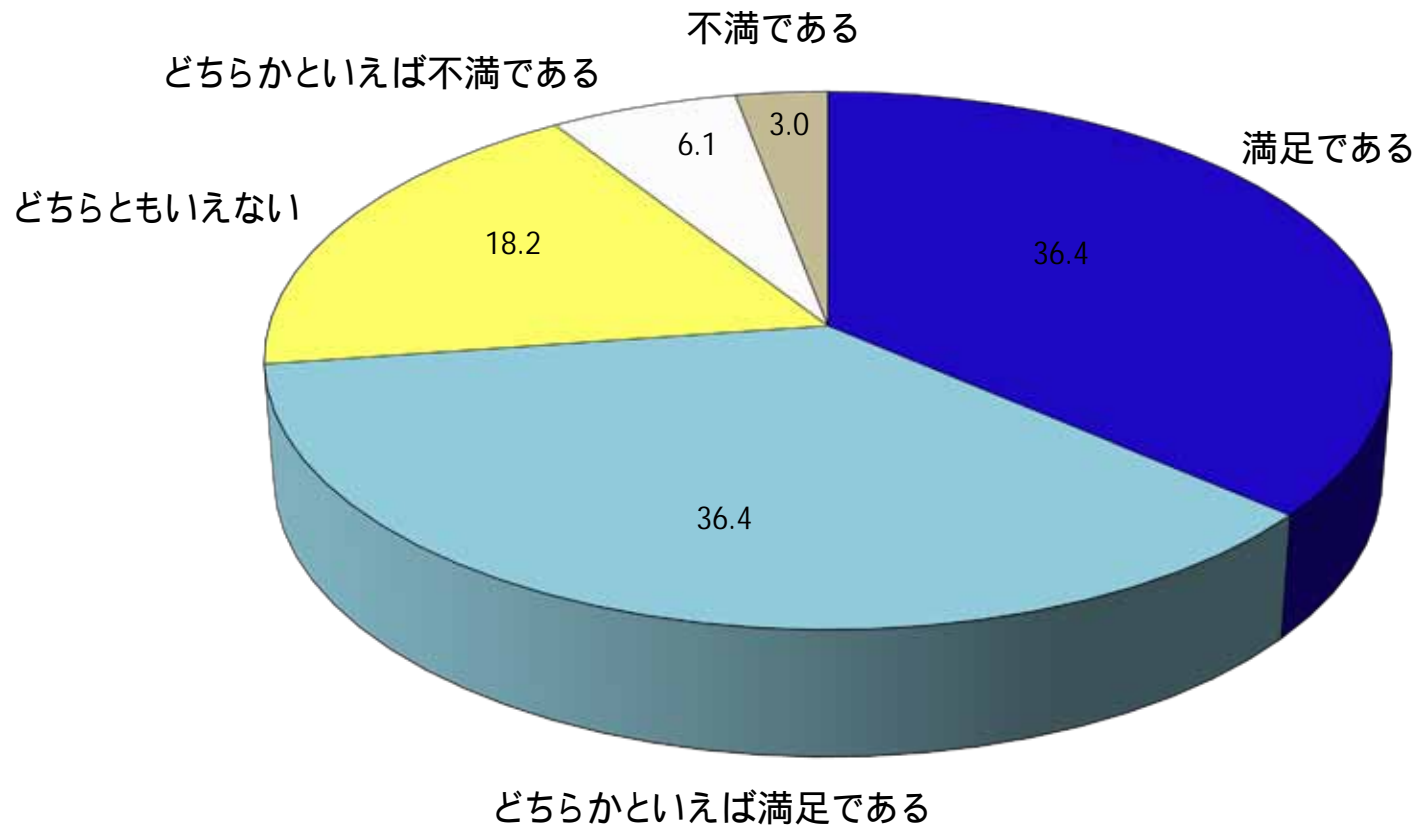
## 訪問歯科診療における患者1人当たりの所要時間



有効回答のあった577施設（調査票送付数:無作為抽出した632施設）のうち、訪問歯科診療を実施していると回答のあった135施設について集計

(平成21年度医療課調べ)

## 在宅歯科医療に対する患者またはその家族の満足度



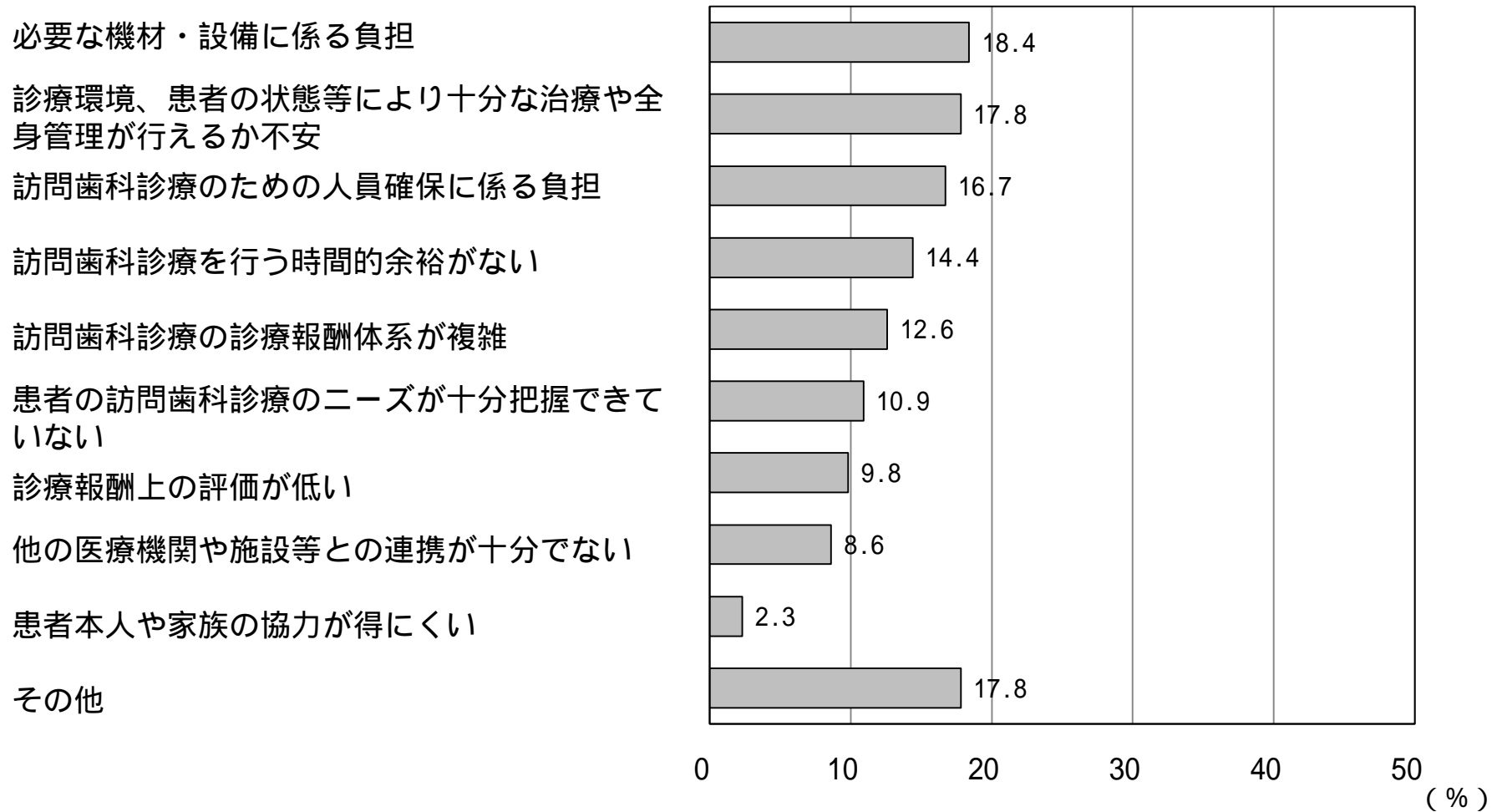
(平成21年度医療課調べ)

有効回答のあった患者444名(調査票送付数:無作為抽出した1,000名)のうち、本人または家族に訪問歯科診療の経験があると回答した患者33名について集計



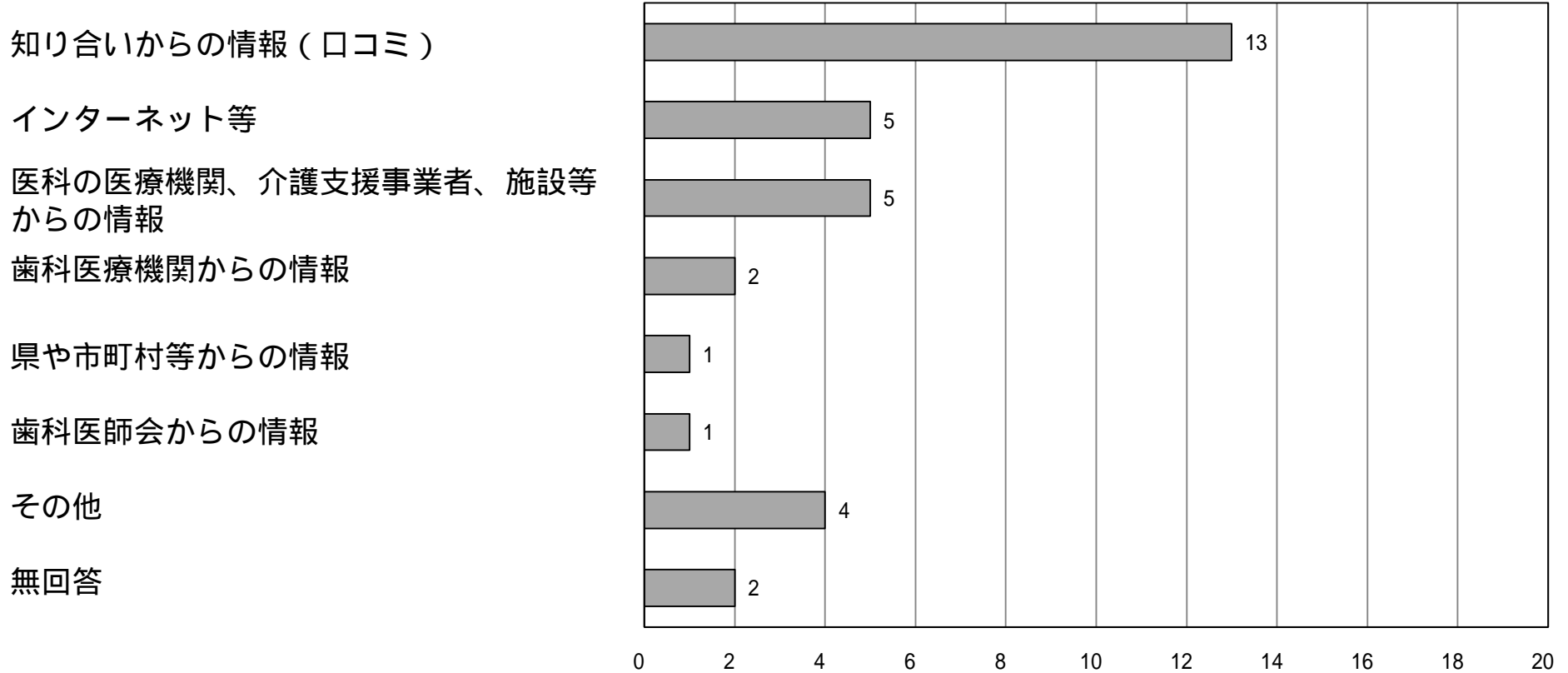
## 訪問歯科診療に関する課題（歯科医療機関）

(N=174)



有効回答のあった577施設（調査票送付数:無作為抽出した632施設）のうち、訪問歯科診療の実施の有無に関わらず、訪問歯科診療の課題について回答のあった施設を集計（平成21年度医療課調べ）

## 訪問歯科診療に関する情報源（患者）



（名）

有効回答のあった患者444名（調査票送付数:無作為抽出した1,000名）のうち、  
本人又は家族に訪問歯科診療の経験があると回答した患者33名について集計

（平成21年度医療課調べ）

# 在宅歯科医療推進の基盤整備

(平成20年度～)

## 在宅歯科医療を推進する歯科医師、歯科衛生士の養成講習会 (歯の健康力推進歯科医師養成講習会)

実施方法:日本歯科医師会委託

開催地区:全国8地区で開催、1地区 約50人

内 容:在宅歯科診療の注意点、医師等の医療福祉連携、介護施設での実習等

## 在宅歯科医療機器に関する歯科医療機関への補助制度 (在宅歯科診療設備整備事業)

対 象:上記 の講習会を修了した歯科医師で、医療機関の開設者である者。

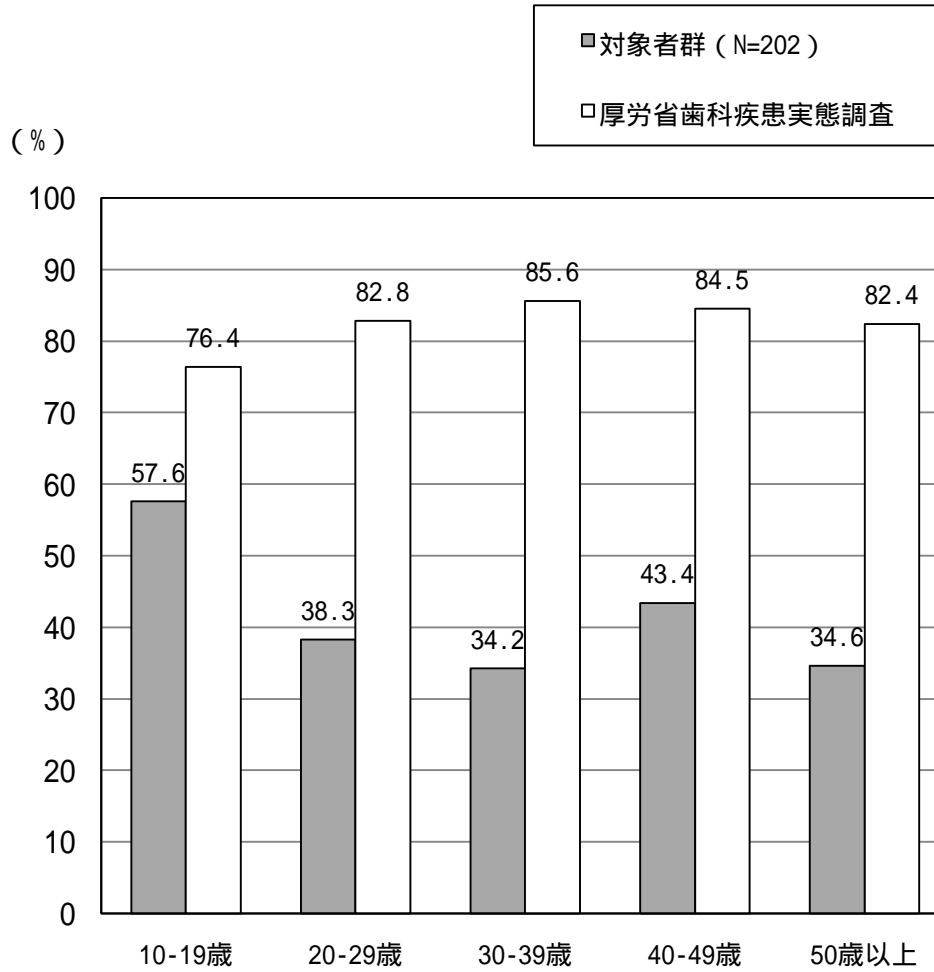
補助内容:在宅歯科医療に必要な機器等に関する、初度設備整備事業

補助割合:事業主1 / 3、都道府県1 / 3、国1 / 3

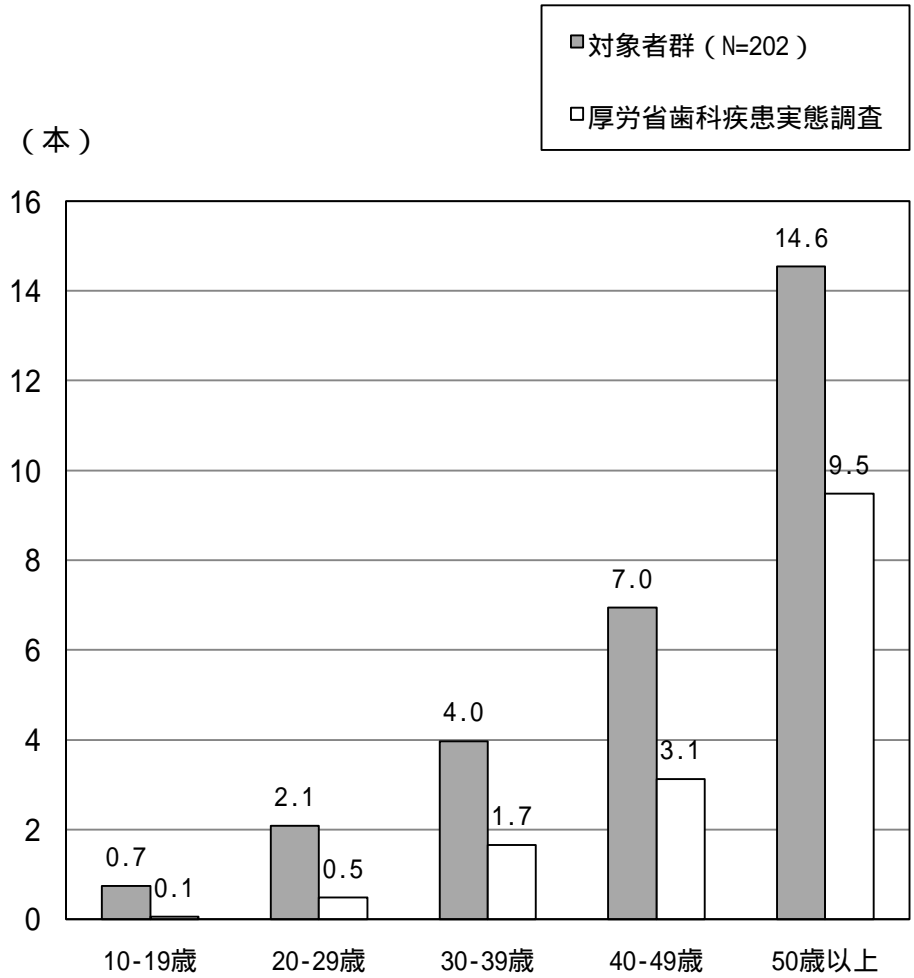


歯科診療報酬について  
- 障害者歯科医療の充実 -  
(参考資料)

## 障害者のう蝕処置率



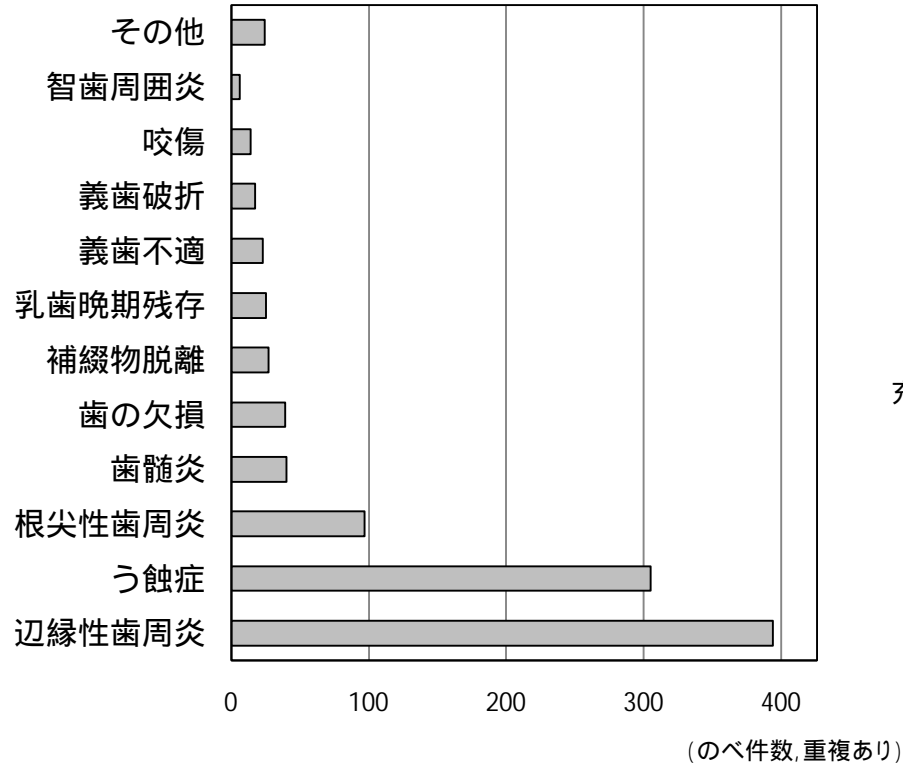
## 障害者の一人平均喪失歯数



(岸ら, 心身障害者の歯科受療と地域歯科医療資源, 日本障害者歯科学会雑誌, 2001)

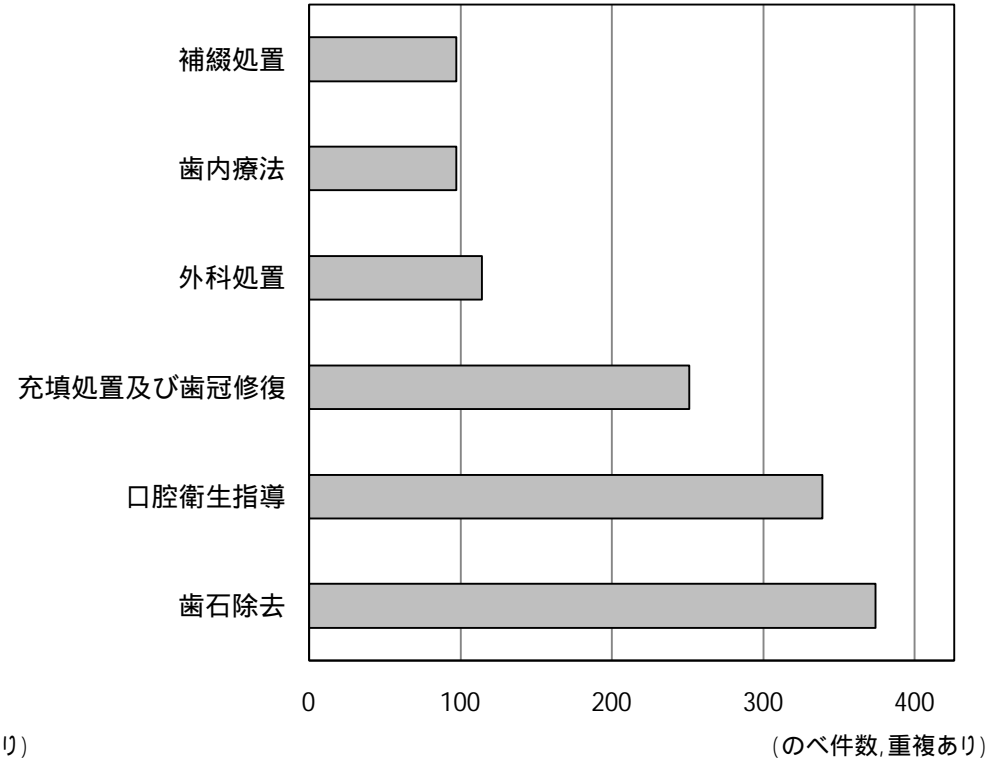
### 歯科を受診した障害者の歯科病名

(N=426)



### 歯科を受診した障害者の歯科治療内容

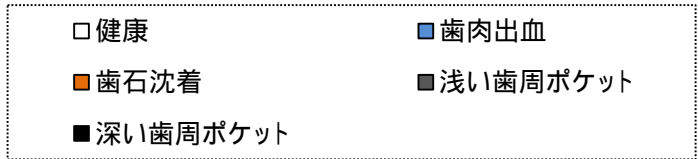
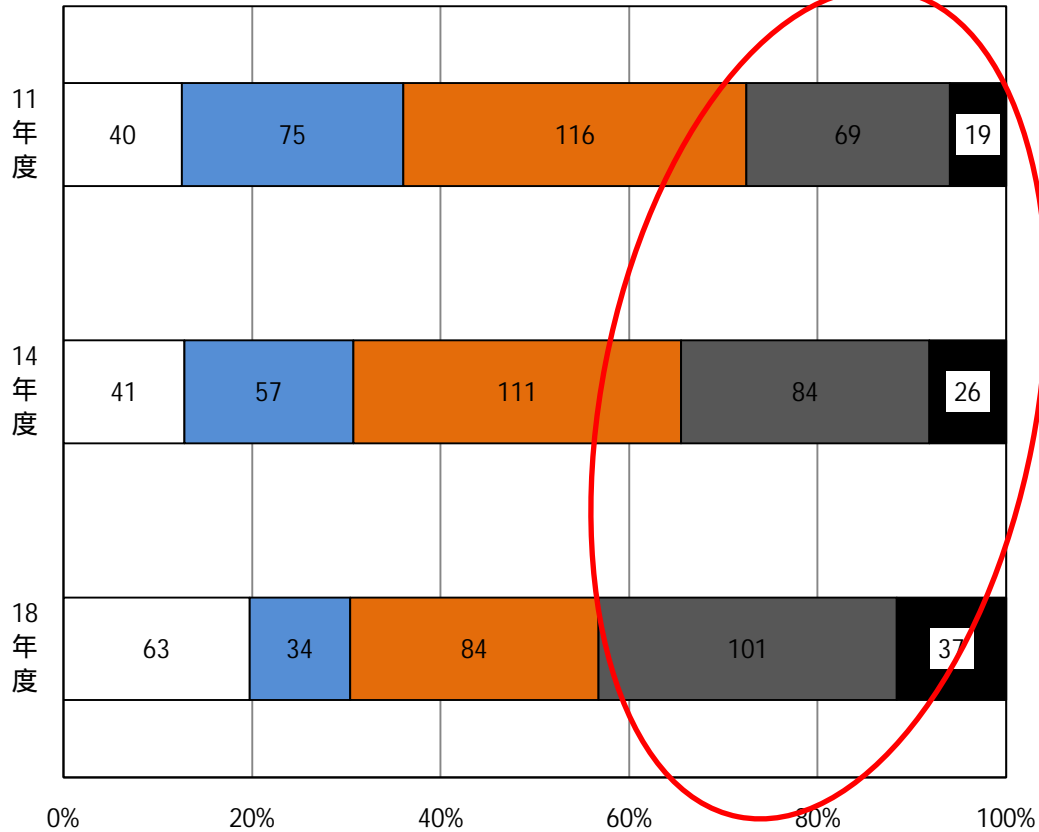
(N=426)



(山本ら, 重症心身障害児・者医療施設に併設された歯科診療室の歯科診療実態について, 日本障害者歯科学会雑誌, 2006)

## 障害者の歯周疾患の重症度の変化

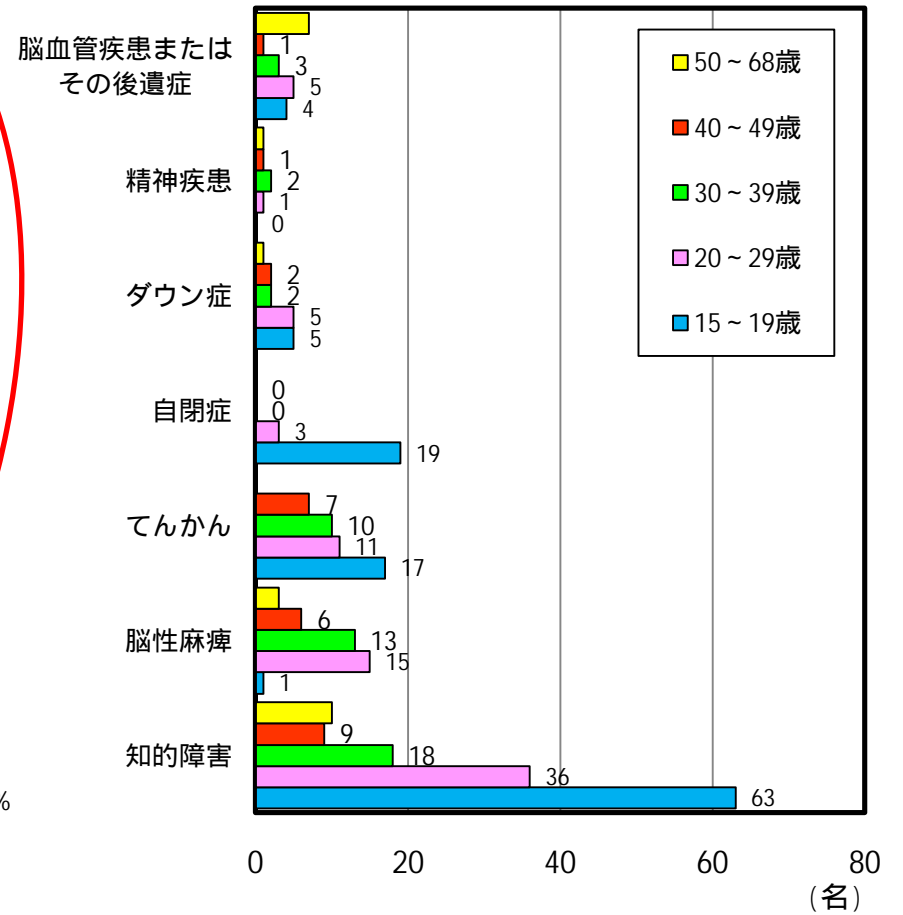
(N=319)



(石川ら、全市的に実施した障害者施設歯科健診の8年間の推移、日本障害者歯科学会雑誌、2008)

## 歯科を受診した障害者の障害分類

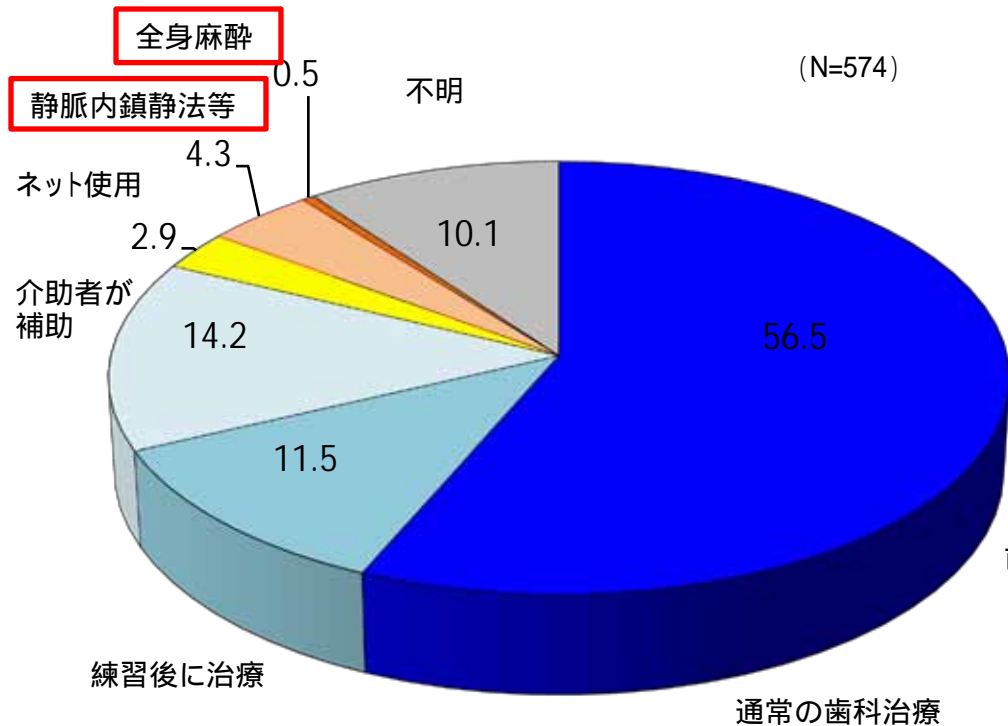
(重複集計 計202名)



(岸ら、心身障害者の齲蝕処置状況と地域医療環境の関連、日本障害者歯科学会雑誌、2001)

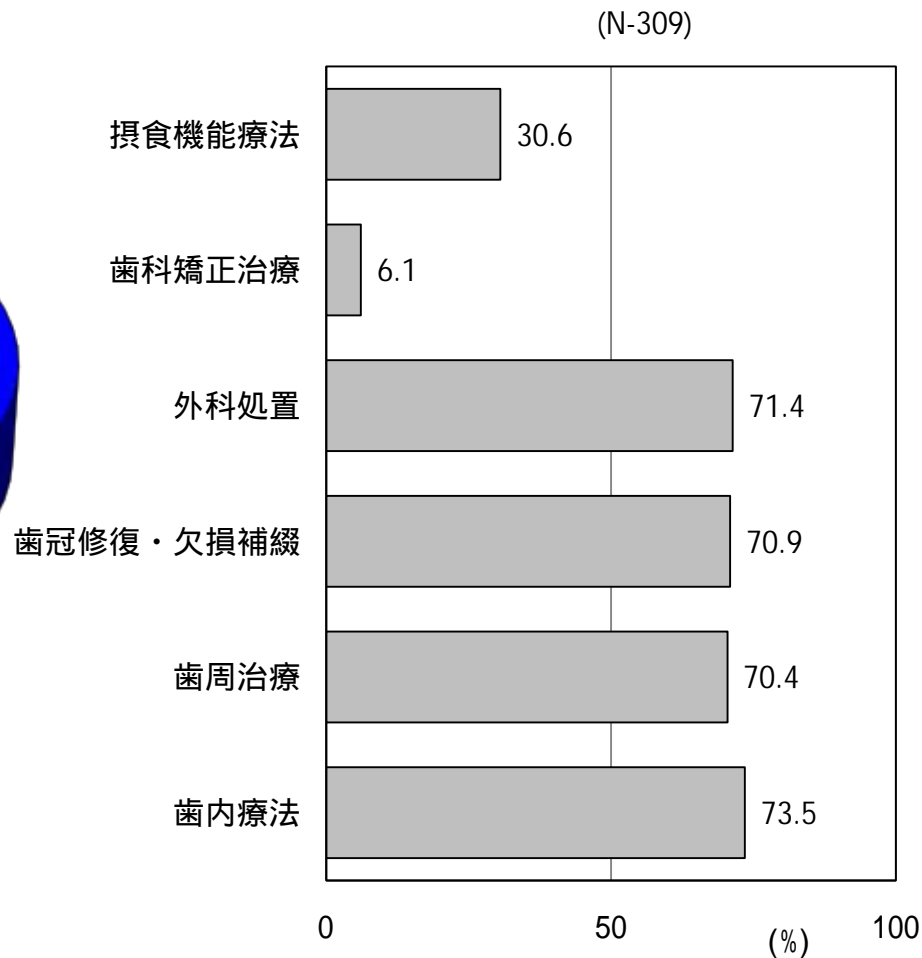


障害児者福祉施設の入・通所者に対する  
歯科治療時の行動調整



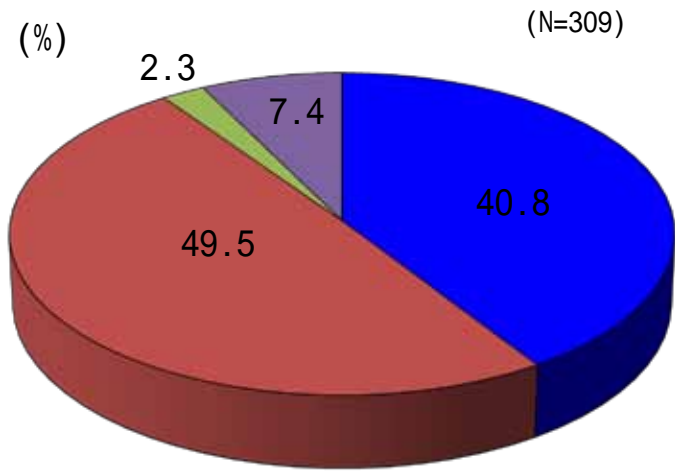
(山口ら、某中核市における障害児・者の歯科受診状況に関する調査, 2000年)

障害者に対する治療内容別の対応可能な  
口腔保健センター等の施設数



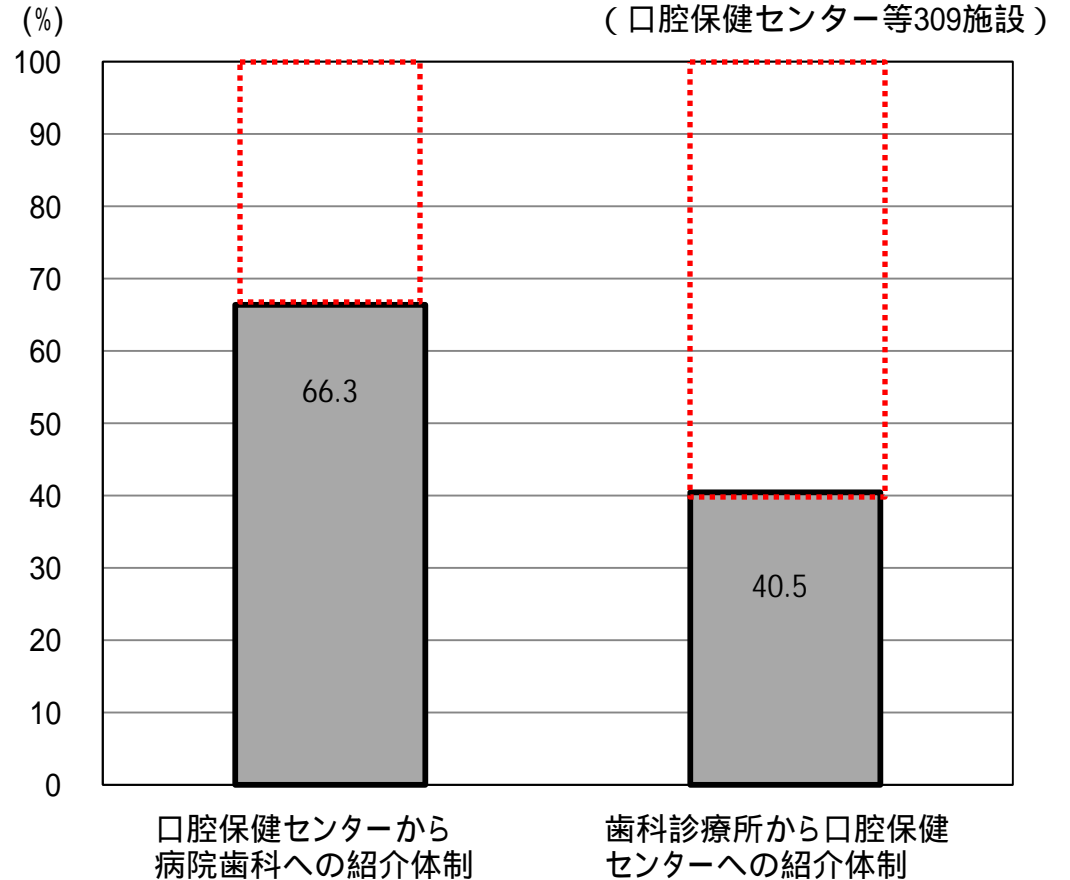
(口腔保健センター等業務内容報告書, 平成19年2月)

## 口腔保健センター等の設置主体



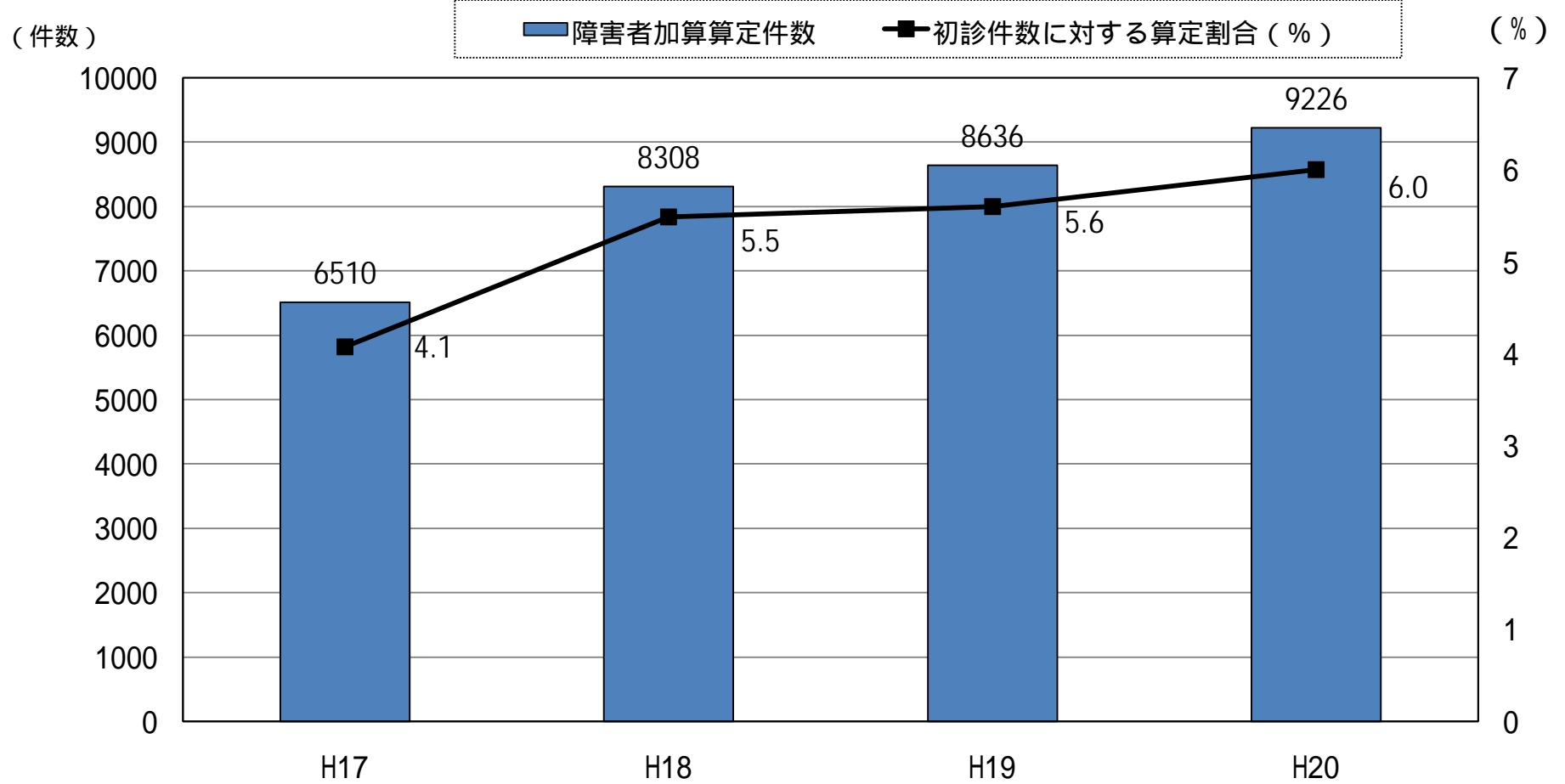
- 地方自治体
- 都道府県・郡市歯科医師会
- 地方自治体・歯科医師会共同
- その他

## 病院歯科・口腔保健センター・歯科診療所の連携状況



(口腔保健センター等業務内容報告書, 平成19年2月)

## 病院歯科における障害者加算の算定状況



(社会医療診療行為別調査)



歯科診療報酬について  
- 患者の視点にたった歯科医療 -  
( 参考資料 )

# 歯科疾患の管理に係る提供文書の例

歯科疾患管理

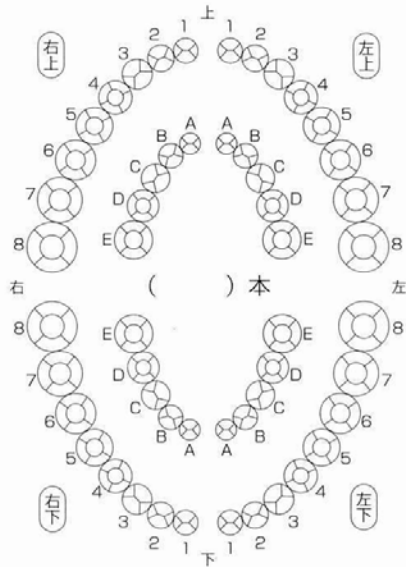
(文書様式1 継続用)

## 歯と口の治療管理 控

様 平成 年 月 日

### ○歯・歯肉の状態・検査結果

- ・プラークや歯石の付着 (///部分) なし あり
- ・歯肉の炎症 (発赤・出血・腫れ) なし あり
- ・歯の動揺 なし あり
- ・歯周ポケット (4mm以上) なし あり



医療機関名  
(担当歯科医)

ご質問がありましたら、  
いつでもお申し出ください

### ○治療予定

- むし歯 (つめる・冠・根の治療)
- 歯肉炎・歯周病の治療
- 義歯・ブリッジ
- その他 ( )

### ○生活習慣の改善に合わせて、 次のことに気をつけてください

- 喫煙 食生活習慣
- 歯磨き
  - 回数
  - 時間
  - 用具

(歯ブラシ・フロス・歯間ブラシ)

# 義歯の管理に係る提供文書の例

補管・義歯管理

## 義歯・ブリッジ・冠の管理について

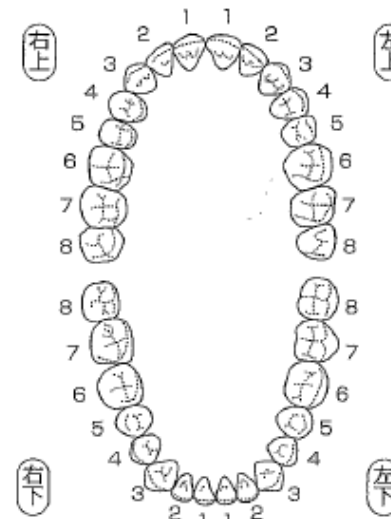
様 平成 年 月 日

### ブリッジ・冠の管理

下図の部位に装着しました。  
当院は長く快適に使える様に、2年  
間の維持管理を行っています。  
不具合があればお気軽にお申し出下  
さい。

### 義歯の使用上の注意について

- ・今回、義歯が入りました。
- ・食後は必ず洗ってください。
- ・就寝時は、必ずして専用の容器に  
保管して下さい。
- ・必要に応じて、義歯清掃剤をお使  
い下さい。
- ・痛みがありましたら調整しますの  
で、ご連絡ください。
- ・定期診査を忘れず。
- ・紛失に充分ご注意下さい。



(その他の情報)

保険医療機関名  
所在地・電話番号  
開設者・担当歯科医

## 歯科疾患管理料に係る情報提供による効果(歯科医療機関回答)

【歯科医師に与える影響・効果】

(N=520)

患者への説明が行いやすくなった

より計画的な医学管理が行えるようになった

より円滑に診療が行えるようになった

患者との信頼関係が深まった

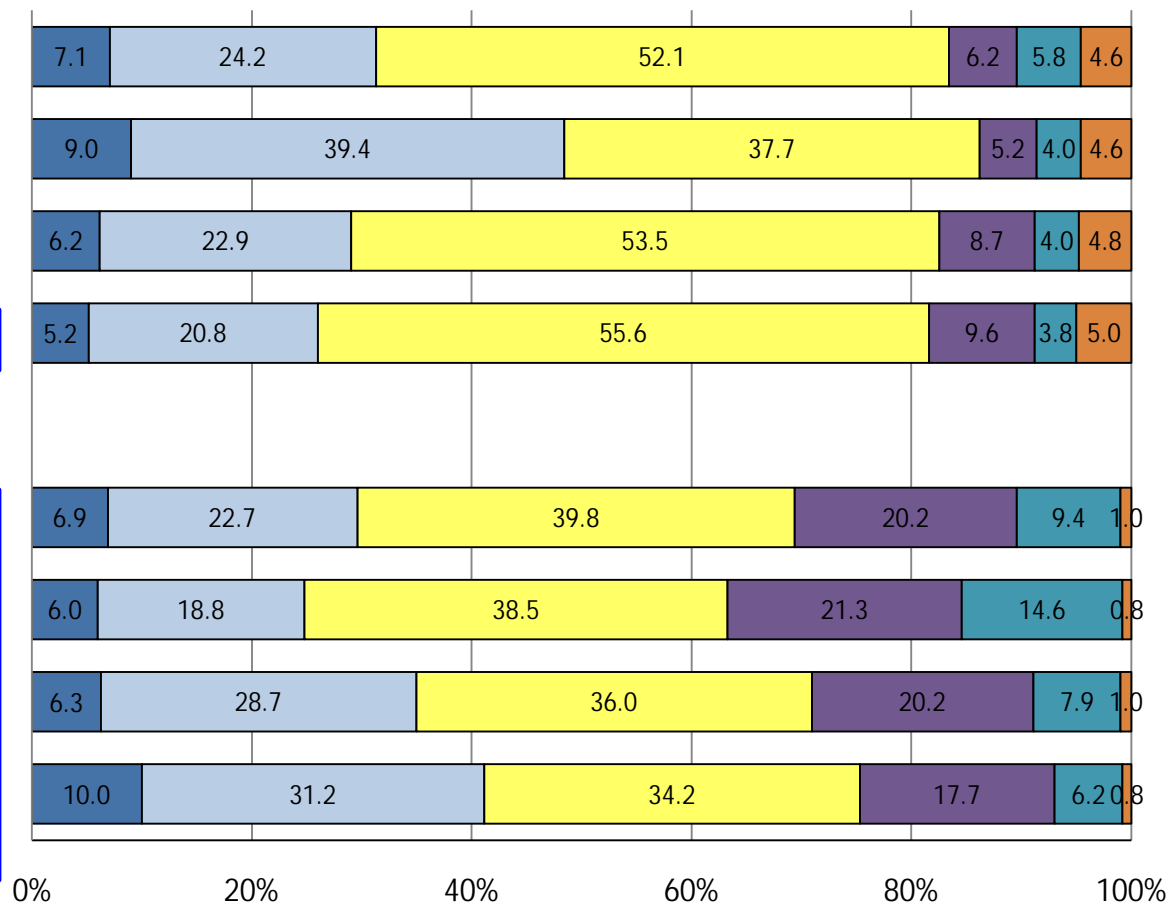
【患者に与える影響・効果】

歯科診療に対する患者の満足度が高まった

歯科診療に対する患者の安心感が増した

口腔内の状況や治療内容に対する患者の理解度が高まった

患者がより積極的に受診したり、セルフケアを行うようになった



■ 大いにあてはまる

□ ややあてはまる

■ どちらともいえない

■ あまりあてはまらない

■ 全くあてはまらない

■ 無回答

有効回答のあった歯科医療機関577施設(調査票送付数:無作為抽出した632施設)のうち、さらに情報提供の効果について回答のあった施設を集計

(平成21年度医療課調べ)

## 歯科疾患管理料に係る情報提供による効果(患者回答)

(N=71)

歯科診療に対する満足度が高まった

歯科診療に対する安心感が増した

口腔内の状況や治療内容に対する理解度が高まった

積極的に受診するようになった

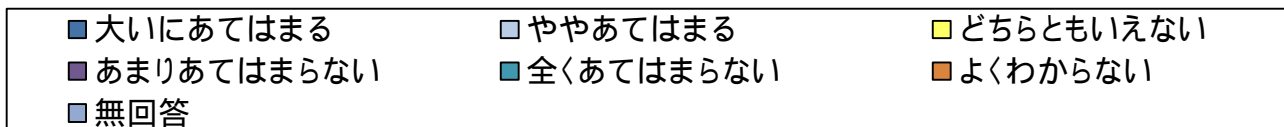
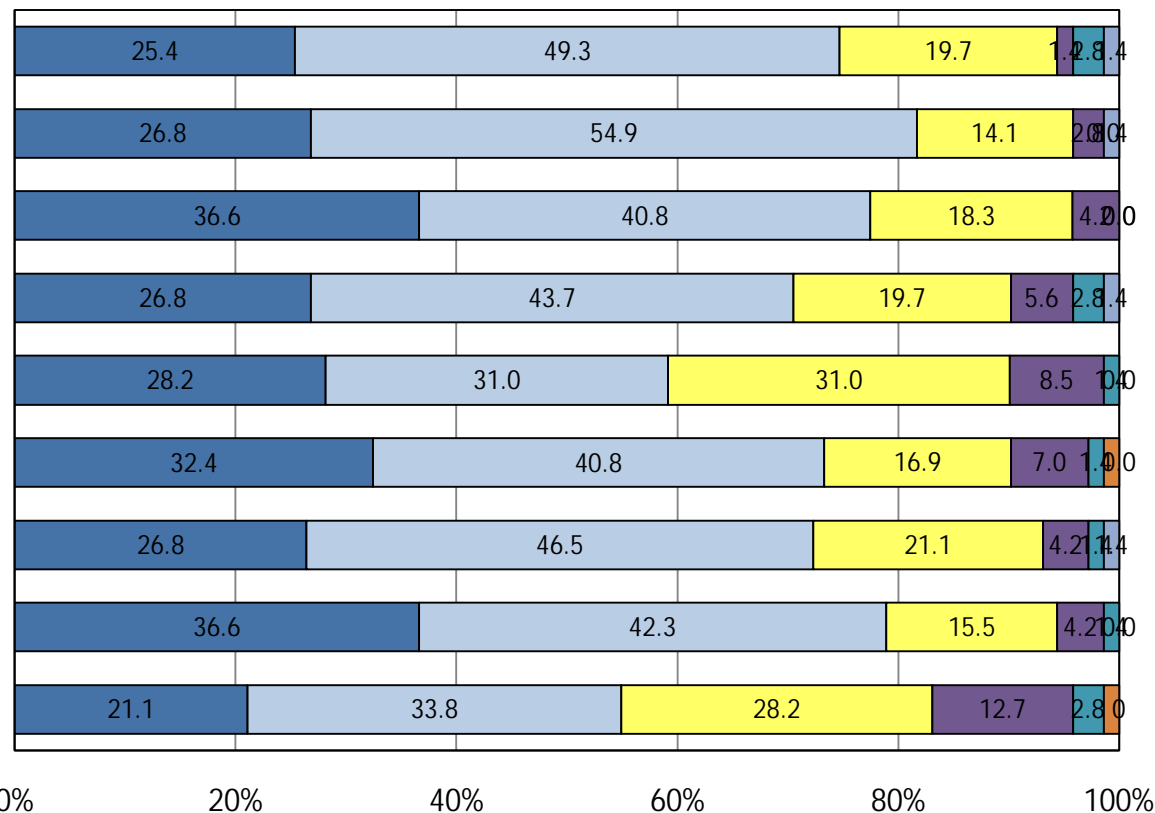
歯科医師や歯科衛生士との信頼関係が深まった

家庭での歯みがきや手入れ方などの理解が深まった

歯や口の病気・治療内容への関心が高まった

歯や口の健康保持への気持ちが高まった

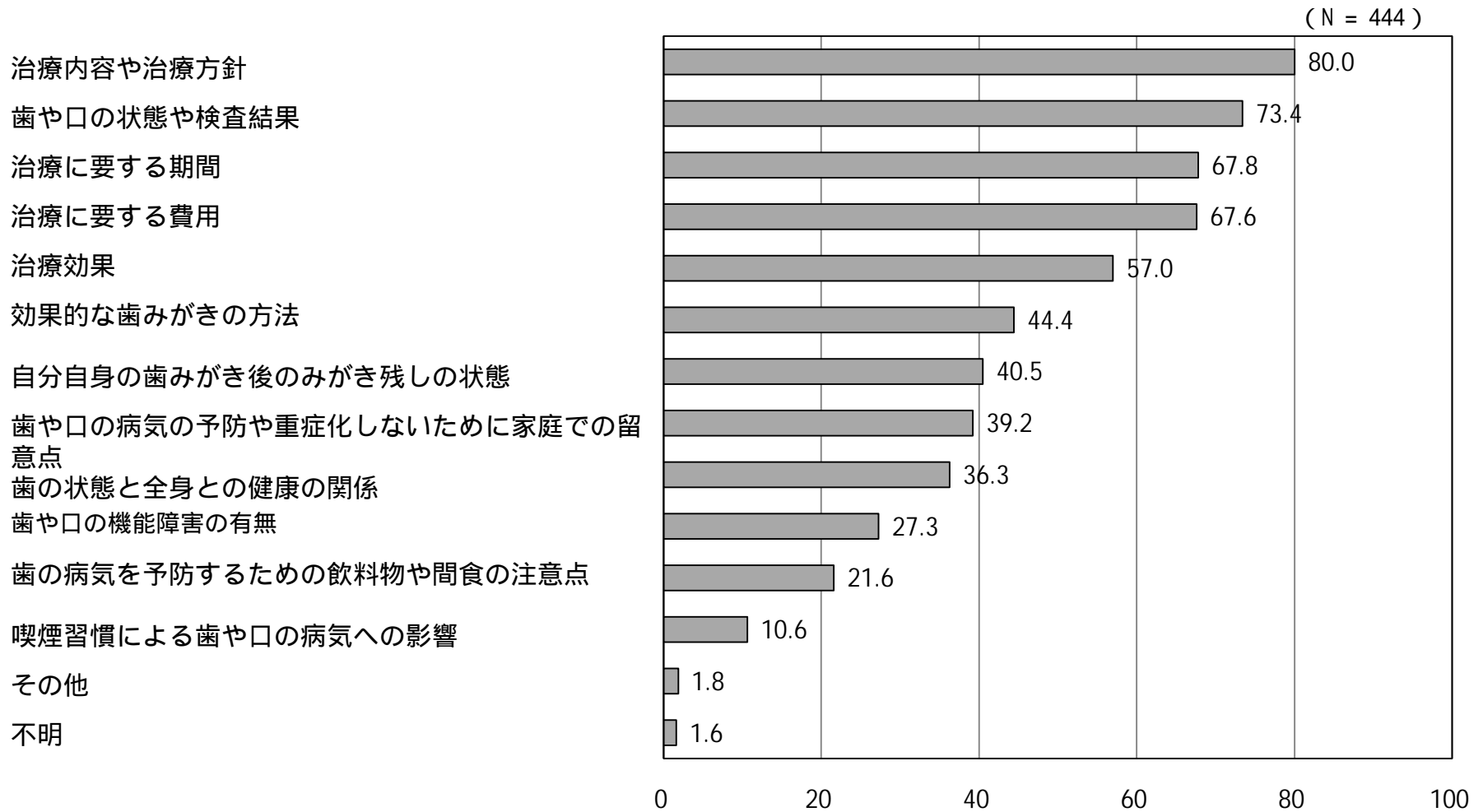
歯や口の悩みを歯科医師・歯科衛生士に相談しやすくなった



有効回答のあった患者444名(調査票送付数:無作為抽出した1,000名)のうち、さらに情報提供の効果について回答のあった患者を集計

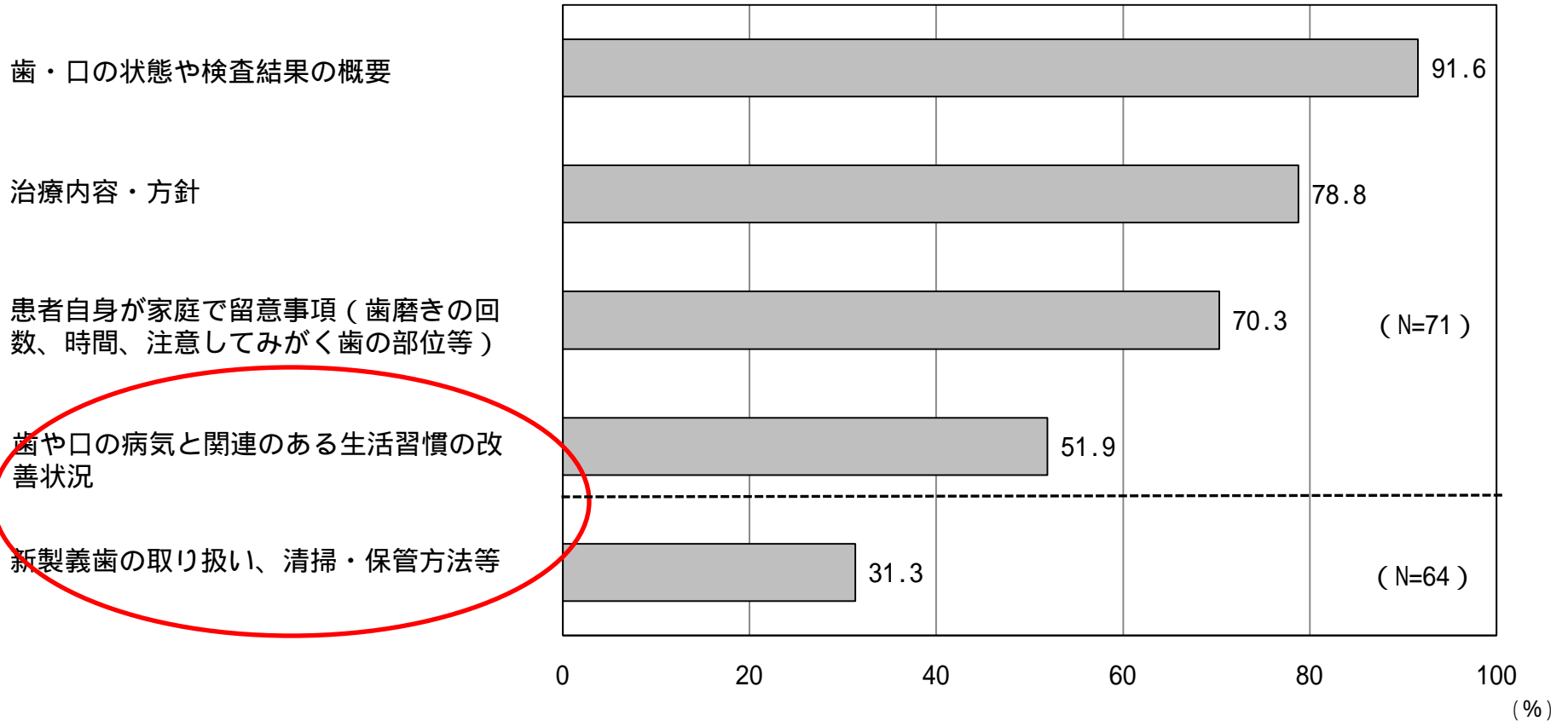


## 歯科医療機関から提供してほしい情報（患者）



有効回答のあった患者444名(調査票送付数:無作為抽出した1,000名)について集計

## 歯科疾患管理及び義歯管理に係る情報提供文書の 内容の分かりやすさ(患者)



有効回答のあった患者444名(調査票送付数:無作為抽出した1,000名)のうち、さらに「情報提供文書の分かりやすさ」について回答のあった患者を集計

(平成21年度医療課調べ)

## 難解であると考えられる歯科用語に関する日本歯科医学会からの提案

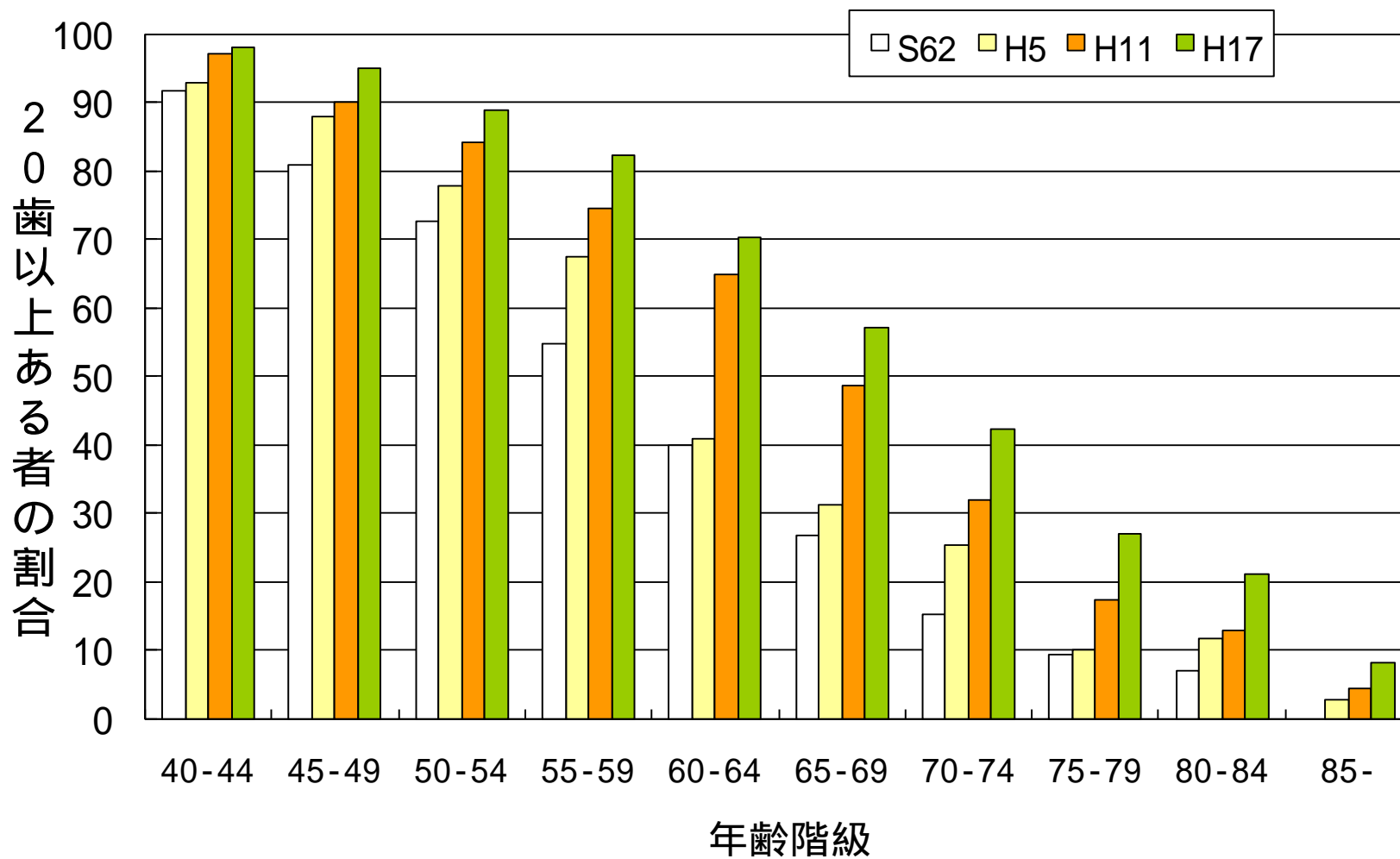
現 行	提案内容
歯冠修復及び欠損補綴（ほてつ）	歯冠修復及び欠損治療
補綴（ほてつ）物維持管理料	クラウン・ブリッジ維持管理料
補綴（ほてつ）時診断料	ブリッジ・有床義歯診断料
歯髄覆罩（ふくとう）	歯髄保護処置
非侵襲性歯髄覆罩（ふくとう）（A-IPC）	歯髄温存療法
楔状（きつじょう）欠損（WSD）	歯質くさび状欠損



## 歯科診療報酬について

- 生活の質に配慮した歯科医療の充実 -  
( 参考資料 )

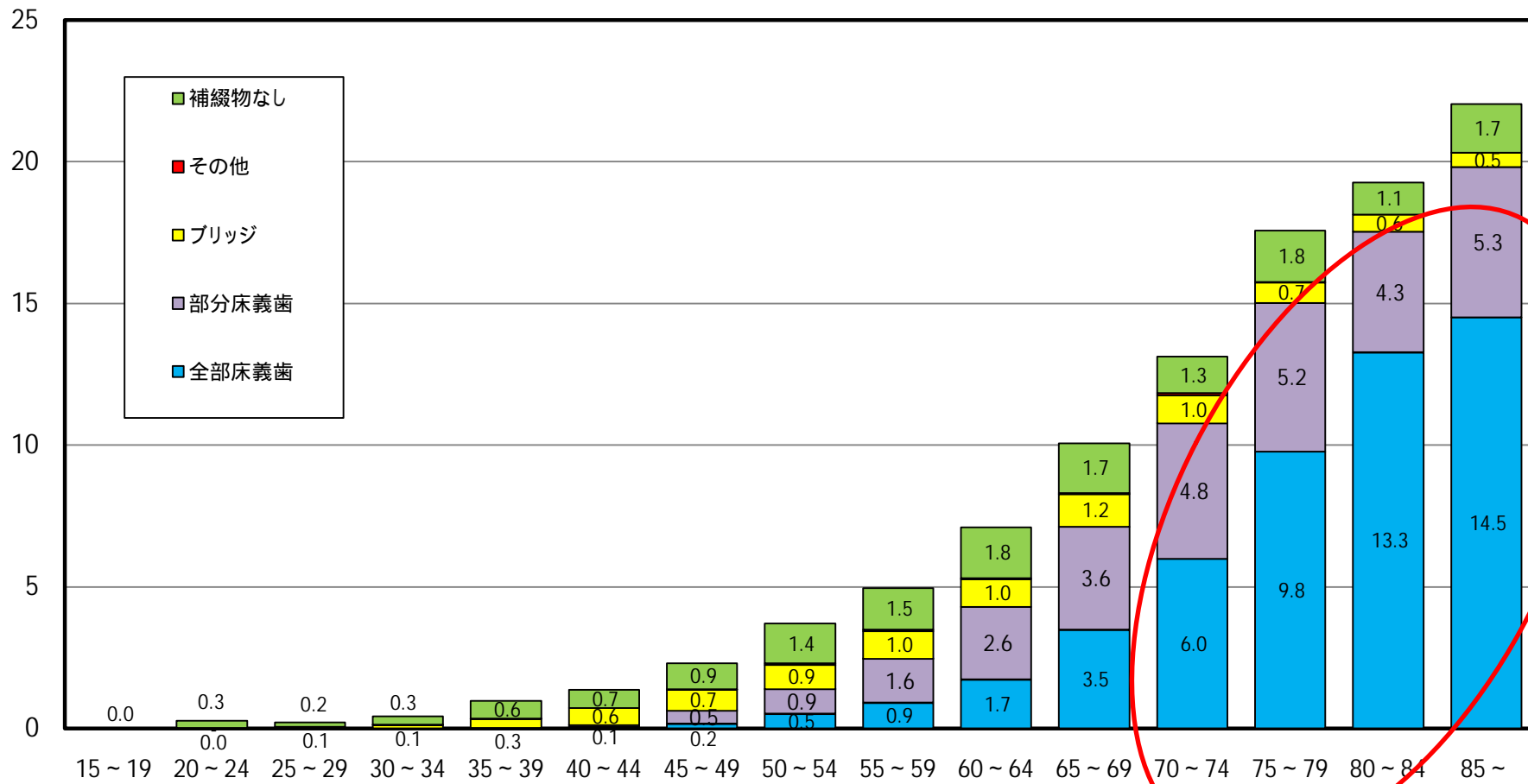
# 20歯以上の歯を有する者の割合の推移



(歯科疾患実態調査)

# 年齢階級別平均喪失歯数と治療内容

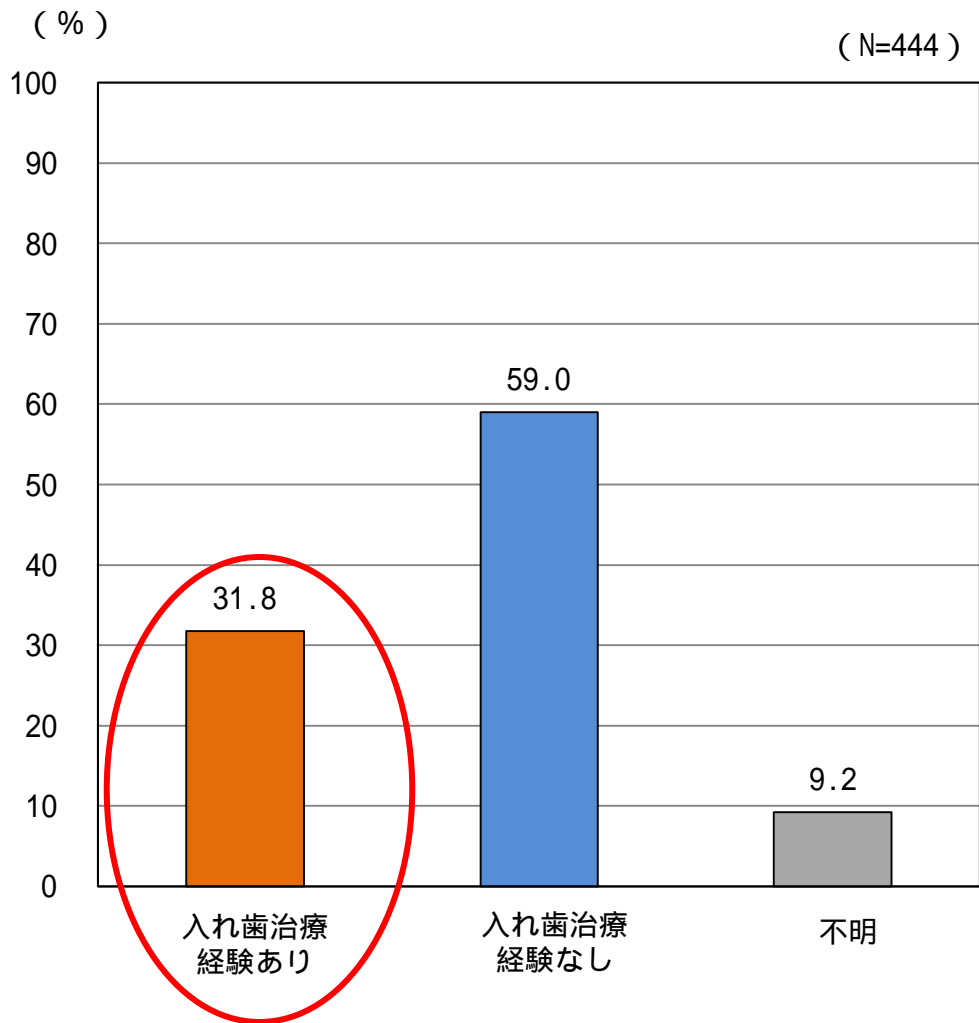
喪失歯数(本)



年齢階級 (歳)

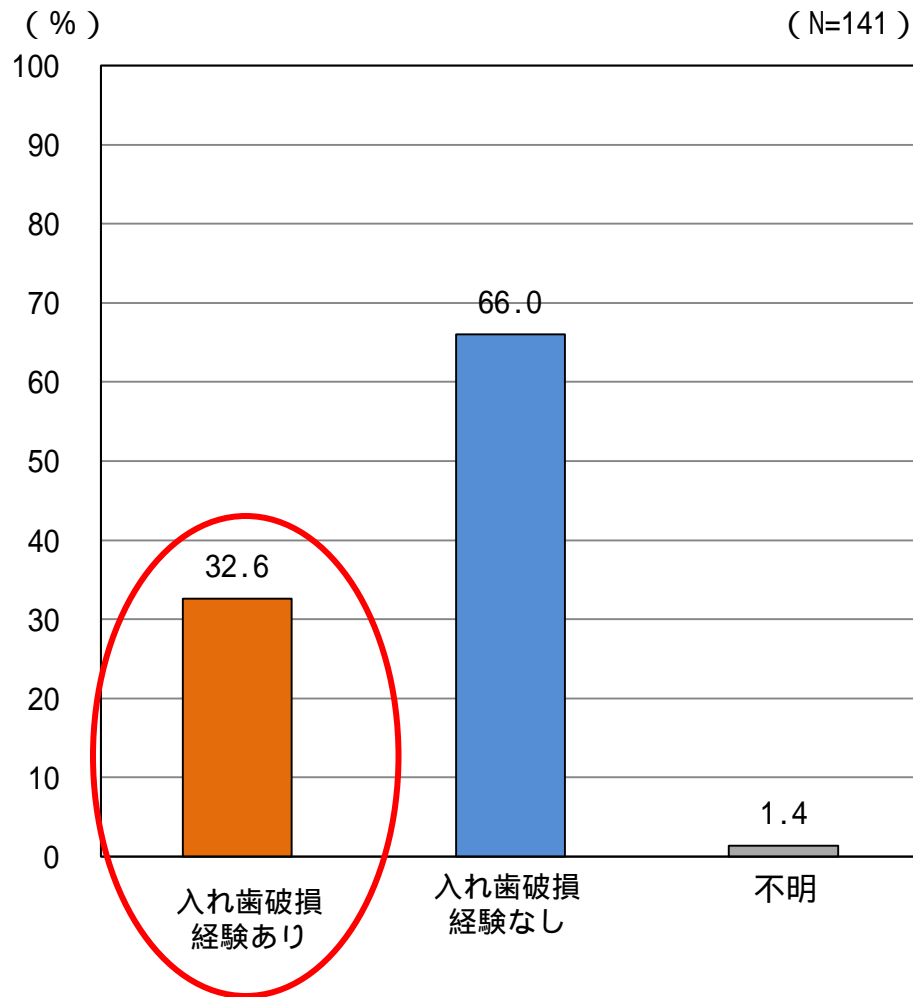
(平成17年歯科疾患実態調査)

### 入れ歯治療の経験のある者の割合



有効回答のあった患者444名(調査票送付数:無作為抽出した1,000名)を集計

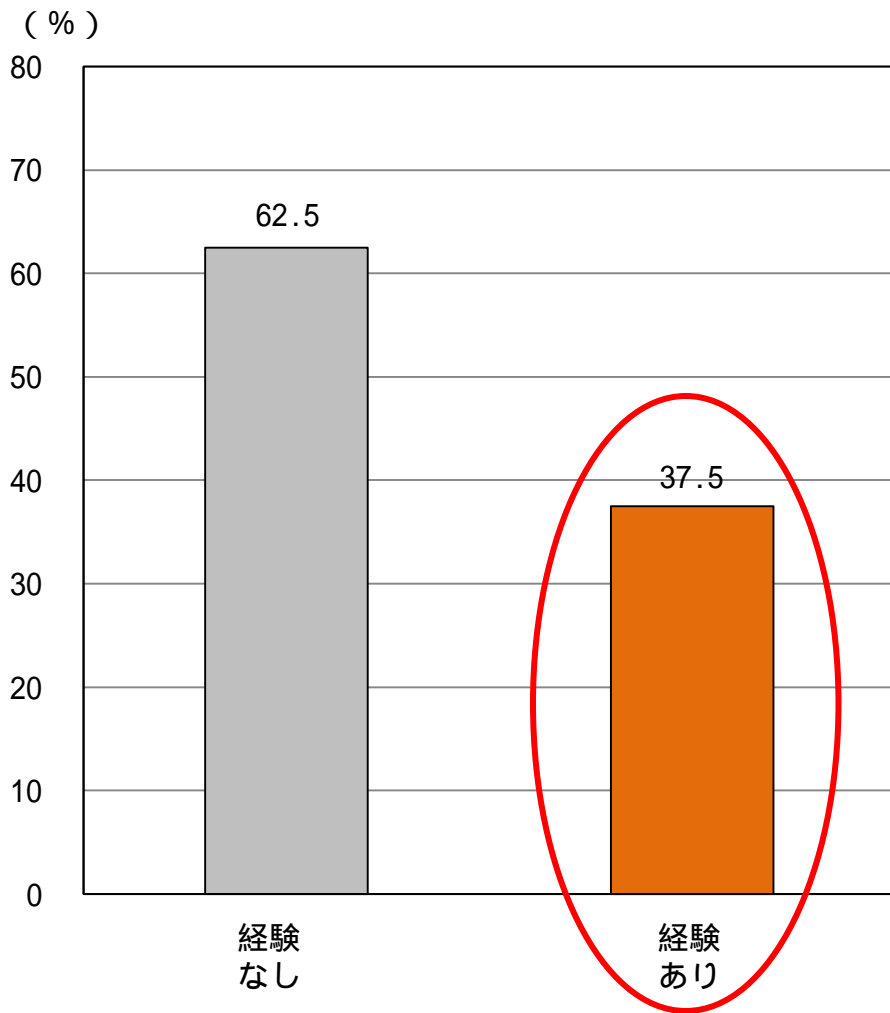
### 入れ歯治療経験のある患者のうち、義歯が破損した経験のある者の割合



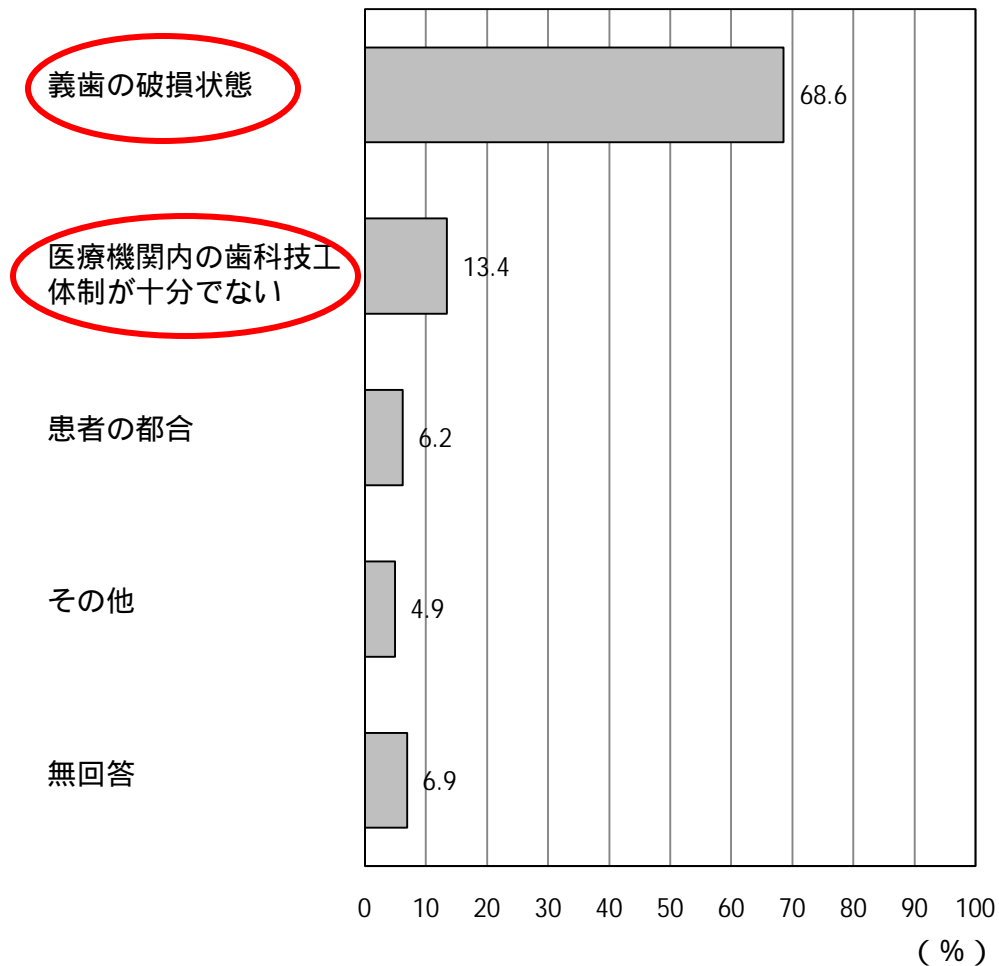
(平成21年度医療課調べ)



義歯修理経験者のうち、入れ歯を1日以上、  
歯科医療機関に預けた経験のある患者の割合

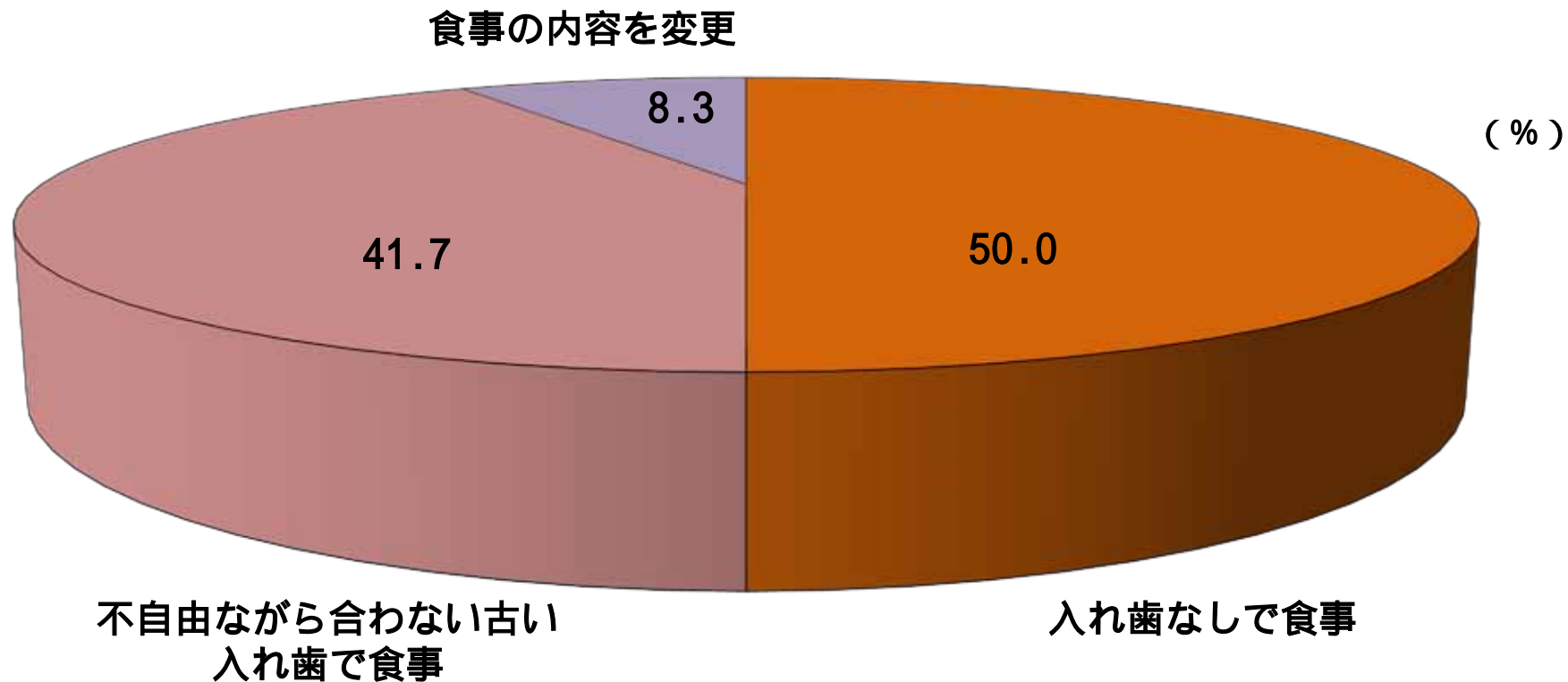


当日内に義歯の修理ができなかった理由  
(歯科医療機関回答)



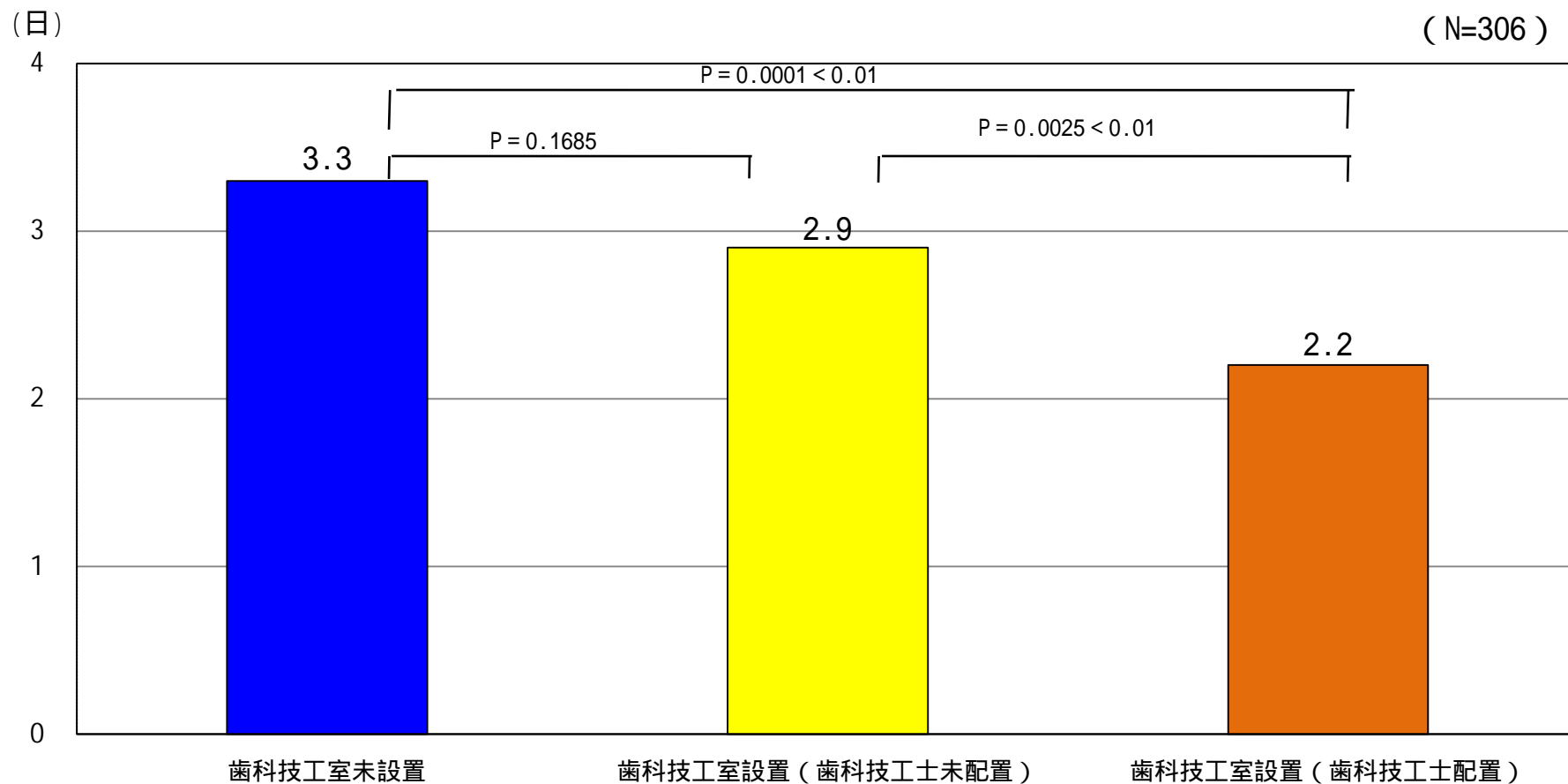
(平成21年度医療課調べ)

## 修理のために義歯を預けた期間における患者の食事の状況



(平成21年度医療課調べ)

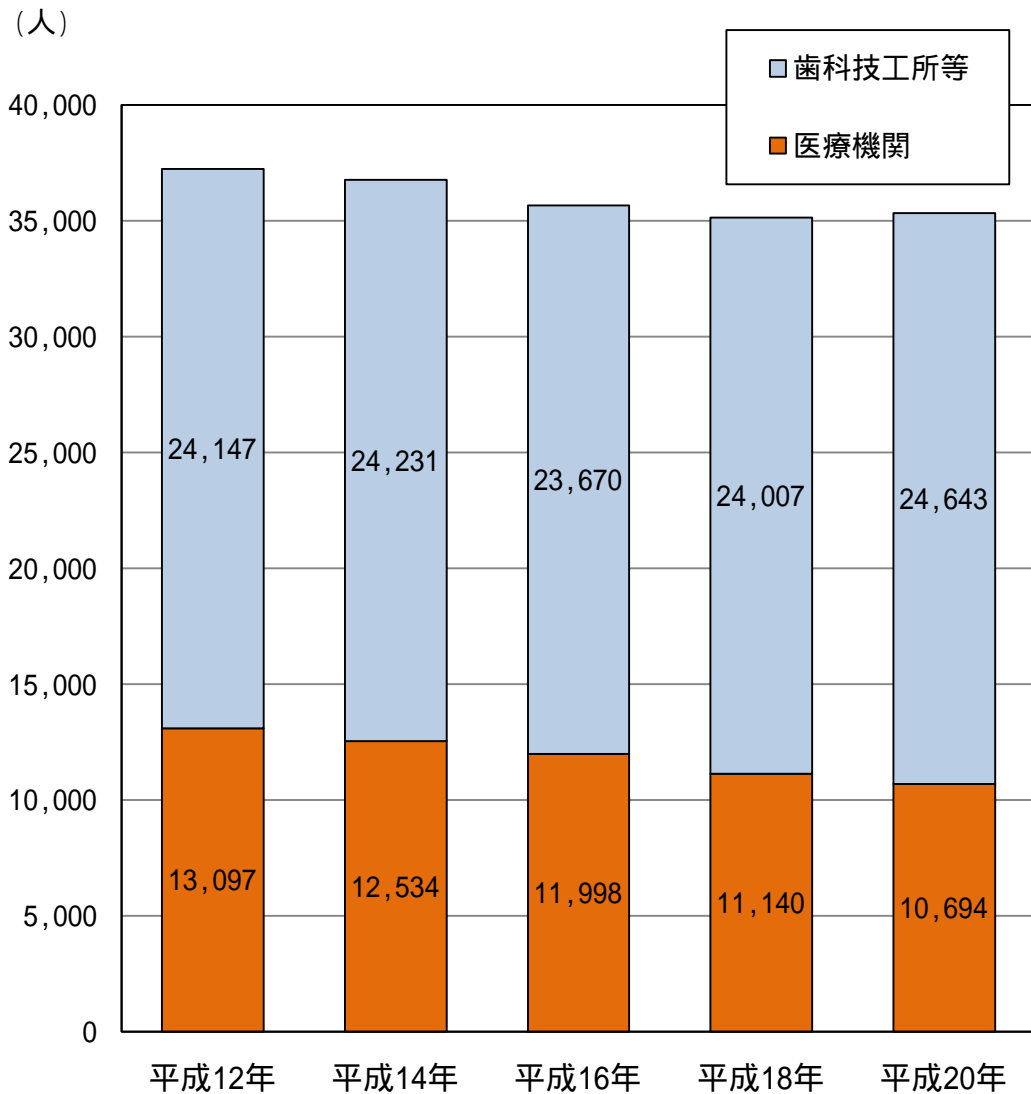
## 修理のために義歯を歯科医療機関に1日以上預けた場合の平均所要日数



- 1: 有効回答のあった歯科医療機関577施設 (調査票送付数:無作為抽出した632施設)のうち、さらに、1日以上、義歯を預かったことのある施設
- 2: 義歯預け入れ期間が7日未満の場合を集計

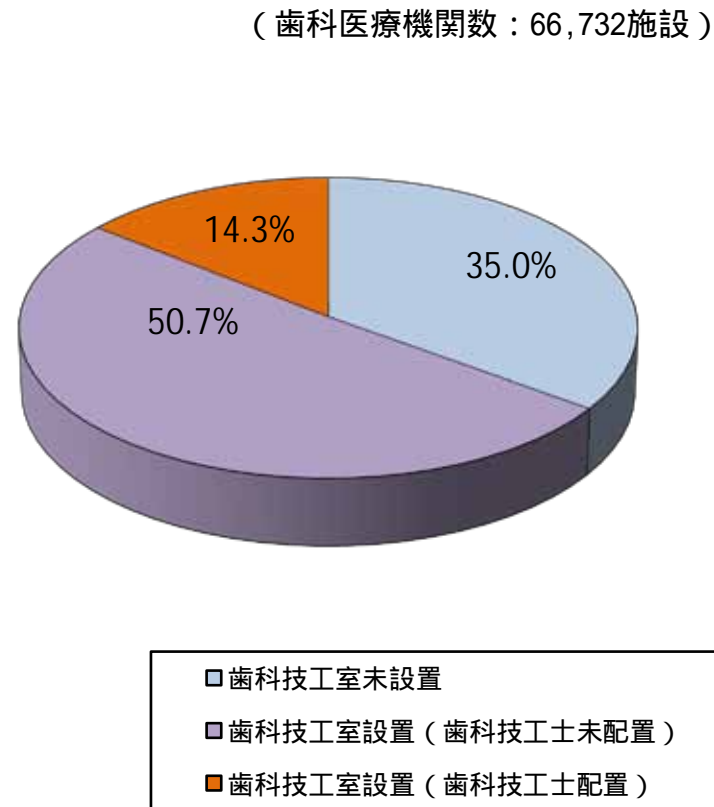
(平成21年度医療課調べ)

## 就業先別の歯科技工士の推移



(保健・衛生行政業務報告)

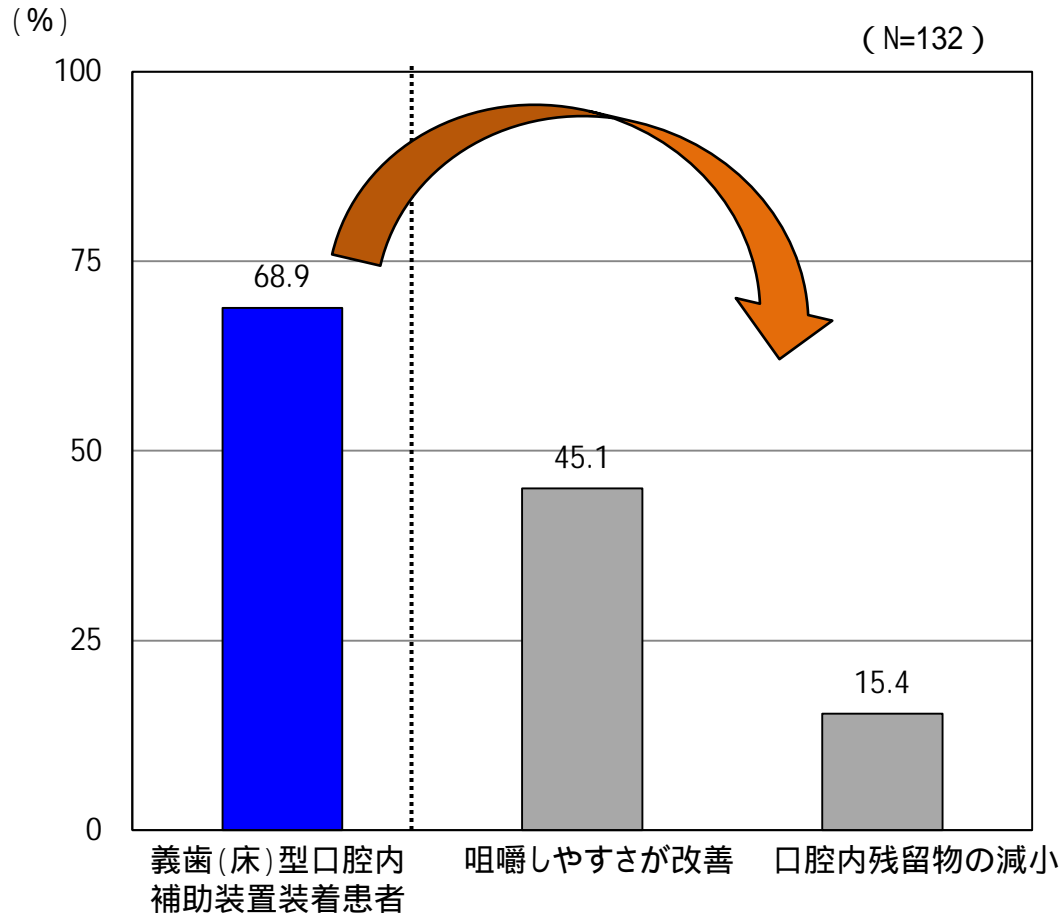
## 歯科技工士を配置している歯科医療機関の割合



(平成17年医療施設調査)

# 咀嚼機能等が低下した患者に対する歯科医学的アプローチによる改善例

## 頭頸部がん患者に対する義歯(床)型の 口腔内補助装置の効果



## 義歯(床)型の口腔内補助装置

口腔内の形態や空隙を考慮して、咀嚼運動等の機能改善を補助する義歯(床)型の装置

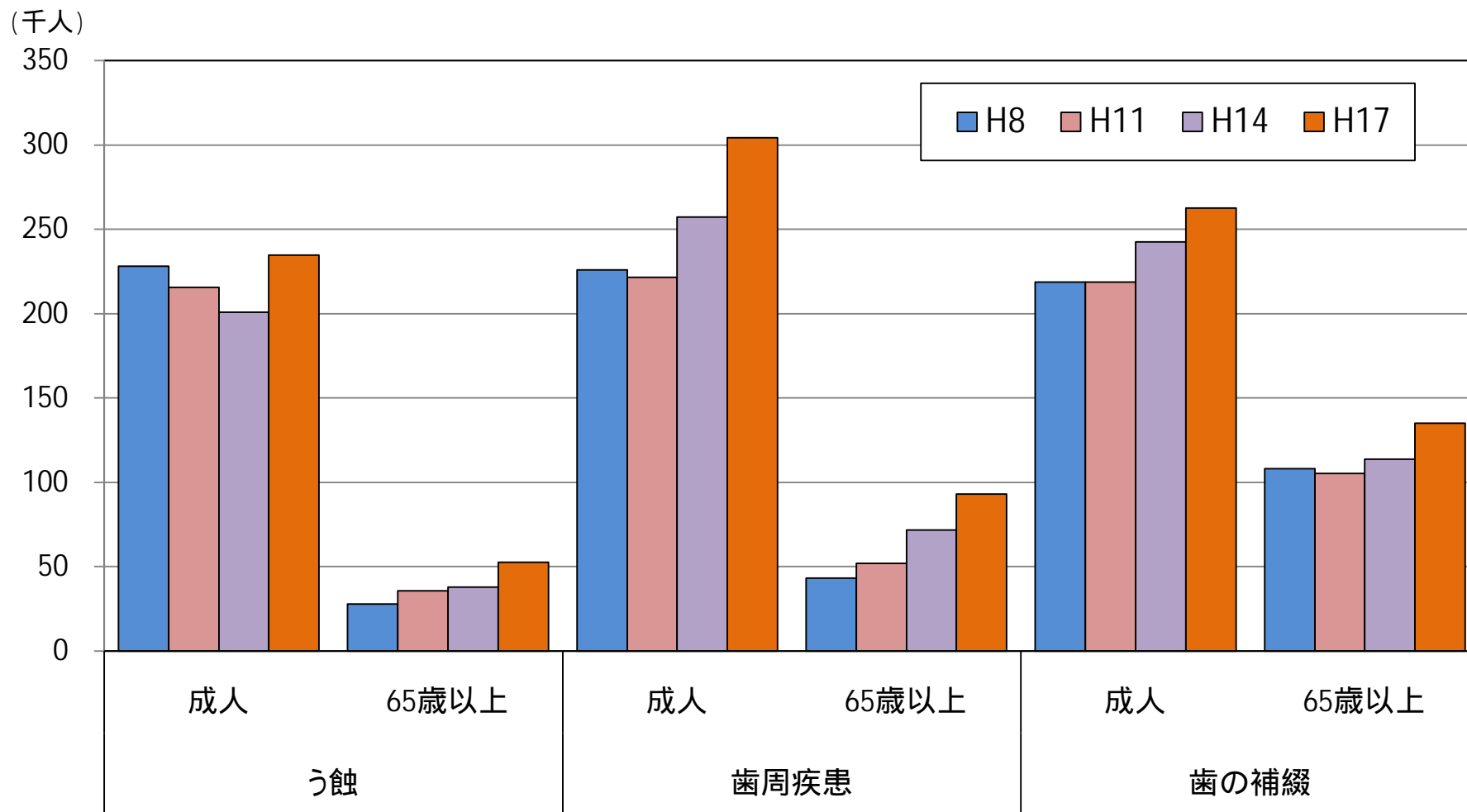


(日本老年歯科医学会；症例調査)



歯科診療報酬について  
- 歯科固有の技術の評価 -  
(参考資料)

## 歯科疾患の推計患者数の推移



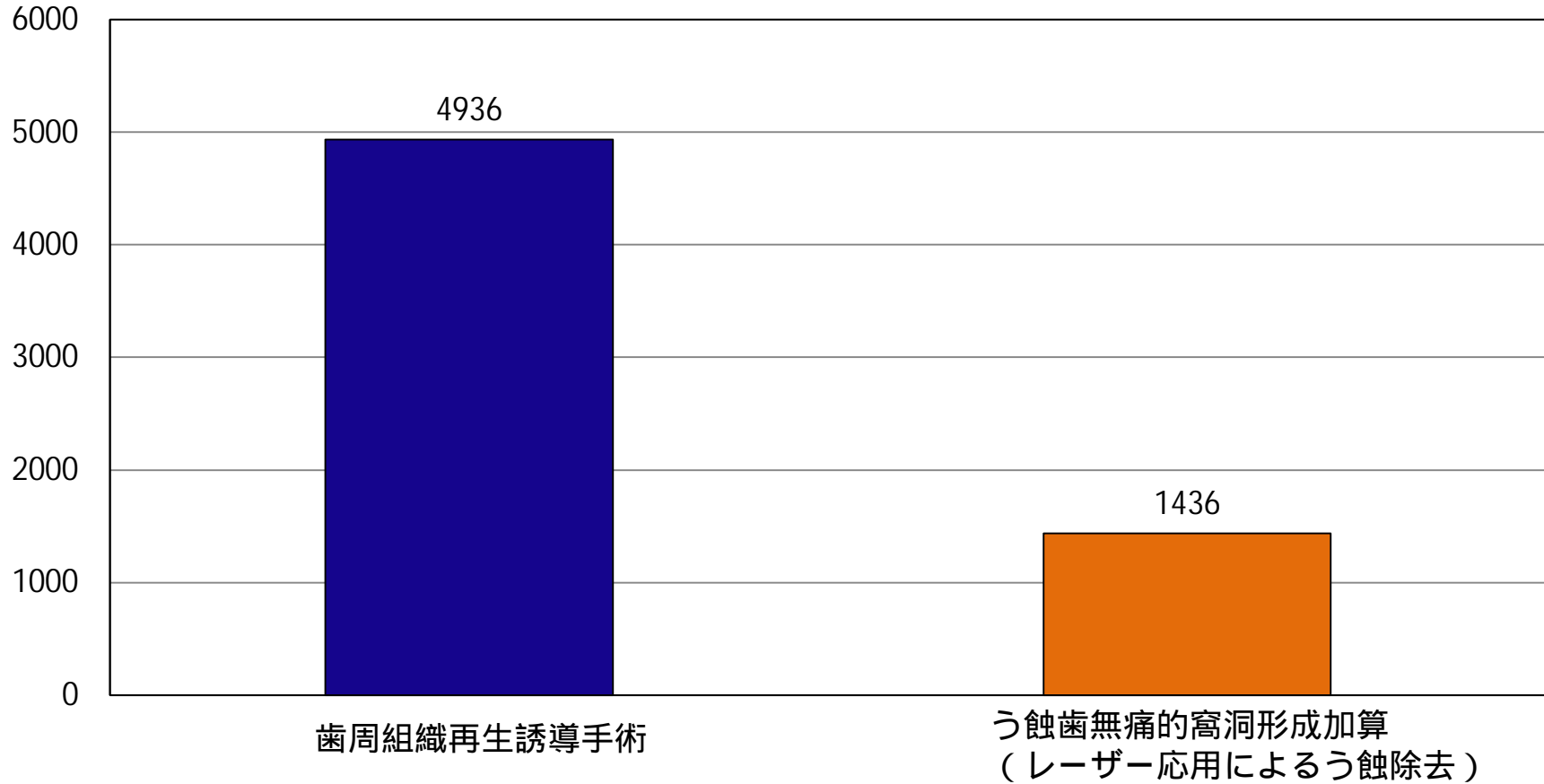
(患者調査)



# 施設基準の届出医療機関数

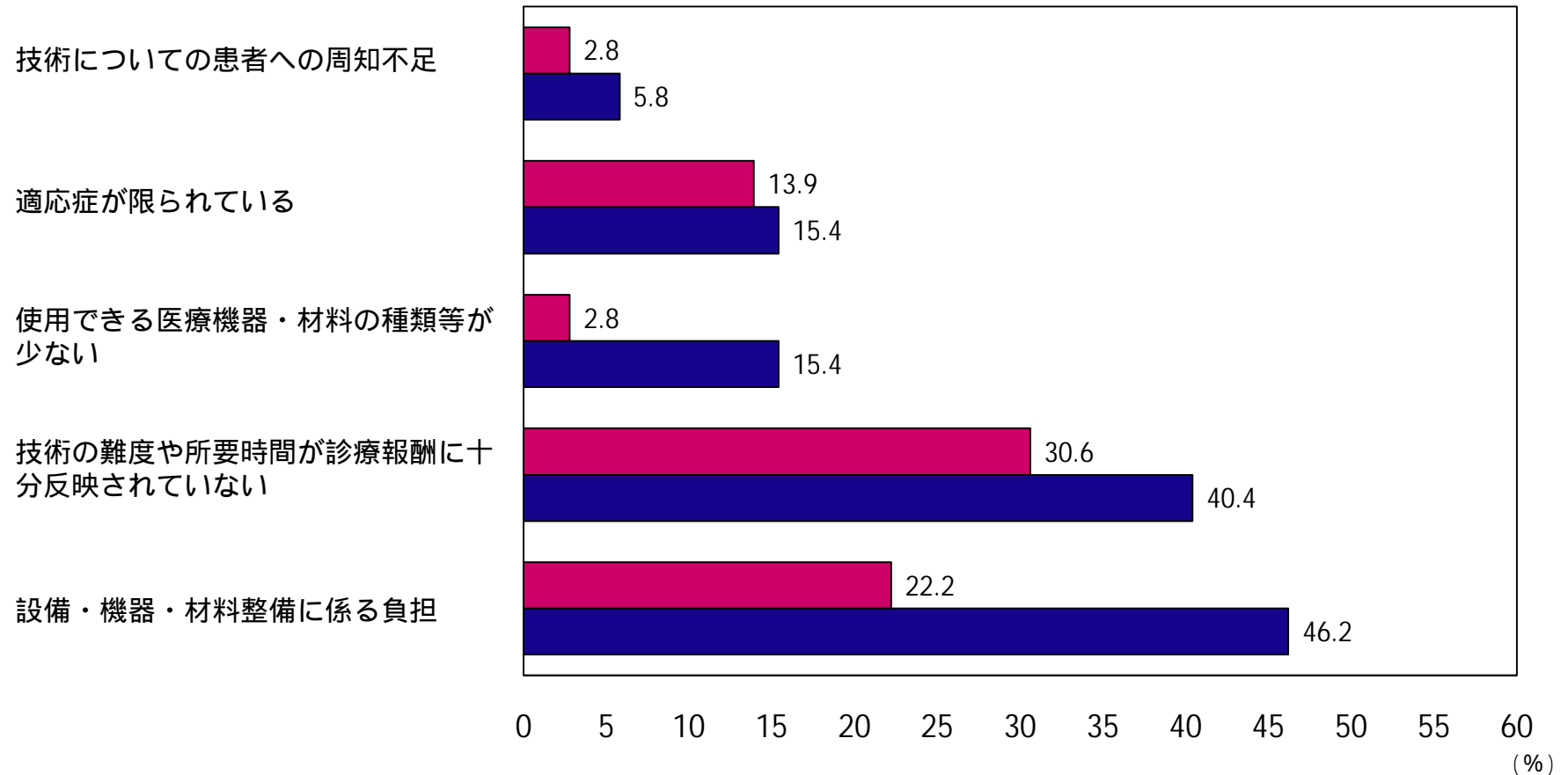
(施設)

(平成20年7月1日現在)



(平成21年度医療課調べ)

## 歯周組織再生誘導手術及び無痛的う蝕歯窩洞形成加算に関する課題



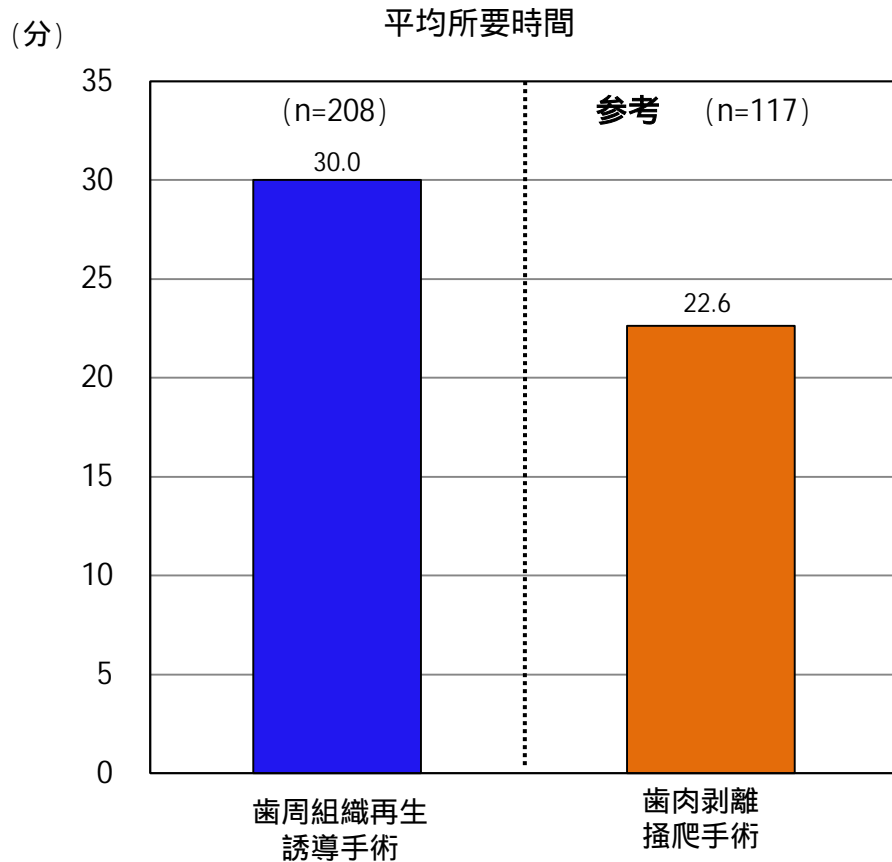
上段：う蝕歯無痛的窩洞形成加算（36施設）

（平成21年度医療課調べ）

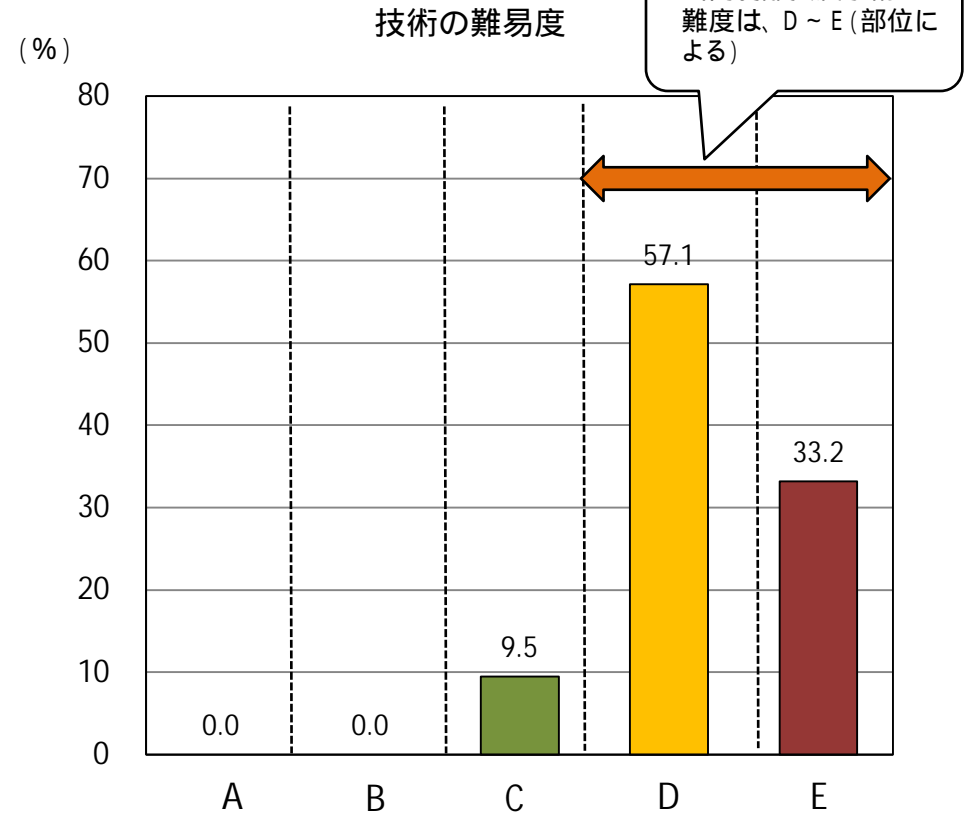
下段：歯周組織再生誘導手術（52施設）

対象：有効回答のあった歯科医療機関577施設（調査票送付数：無作為抽出した632施設）のうち、  
どちらか一方のみの施設基準の届出施設

## 歯周組織再生誘導手術に要する平均時間及び難易度



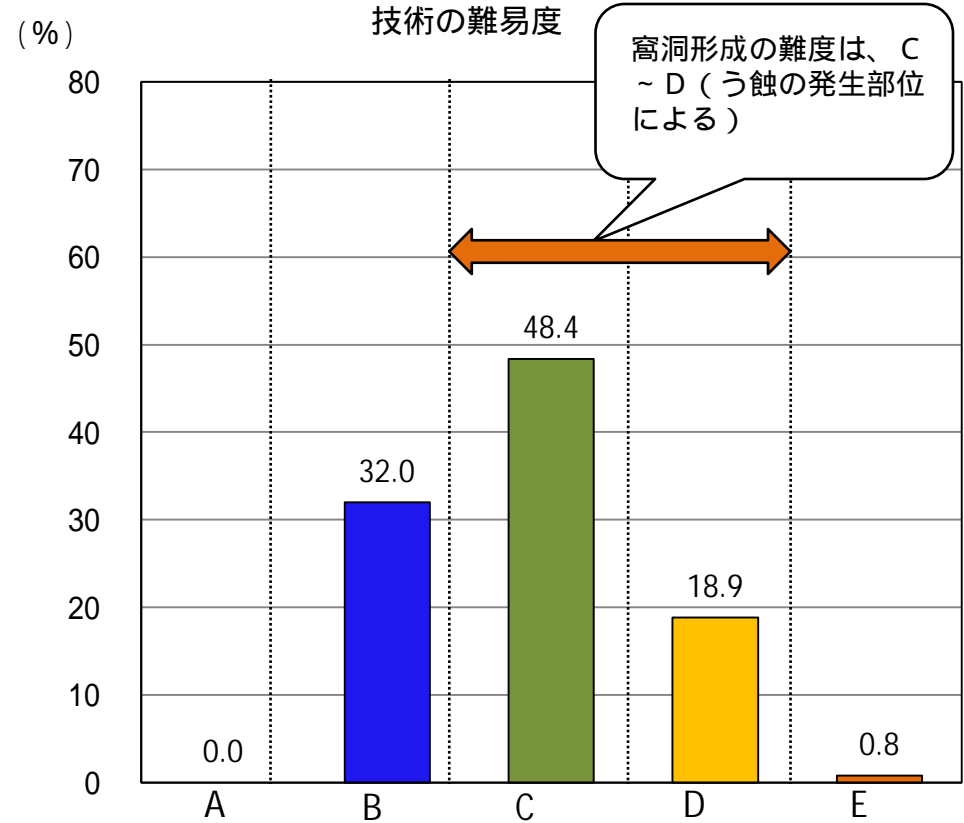
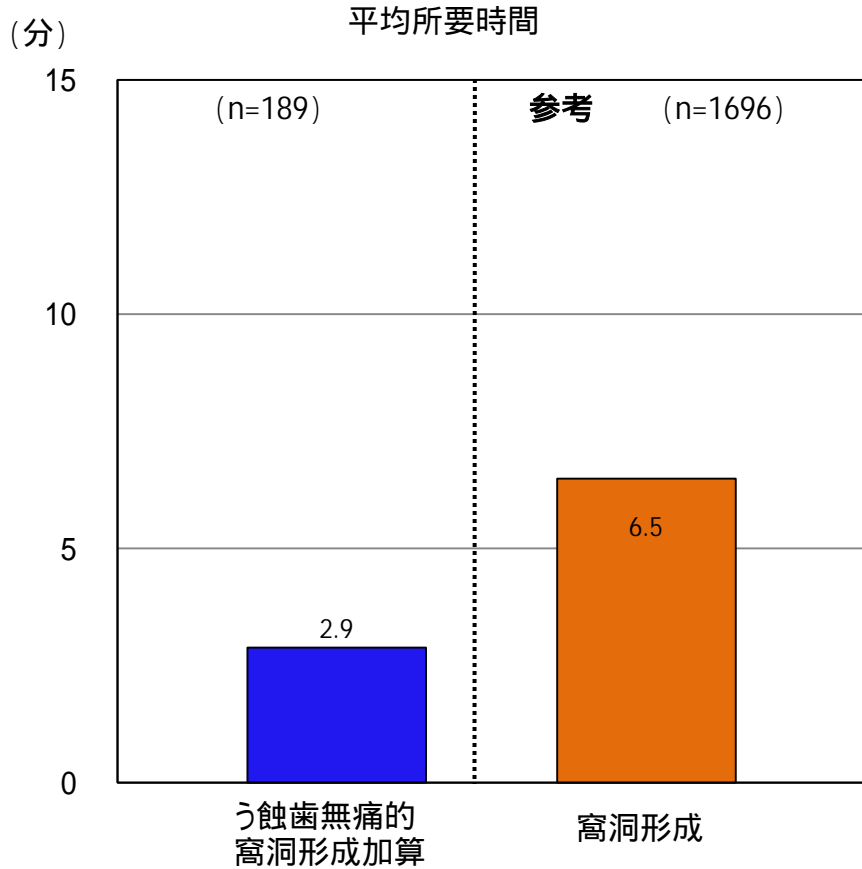
対象: 有効回答のあった歯科医療機関577施設(調査票送付数: 無作為抽出した632施設)のうち、歯周組織再生誘導手術に係る施設基準の届出施設



【技術の難易度】

- A: 歯科医師の指導・監督下で歯科衛生士でも可能
- B: 歯科医師であれば誰でも可能
- C: 中程度の診療技術が必要とする
- D: やや高度の診療技術が必要とする
- E: さらに高度の専門的トレーニングを要する高い技術が必要とする

## う蝕歯無痛的窩洞形成加算に係る技術に要する平均時間及び難易度



対象：有効回答のあった歯科医療機関577施設（調査票送付数：無作為抽出した632施設）のうち、う蝕歯無痛的窩洞形成加算に係る施設基準の届出施設

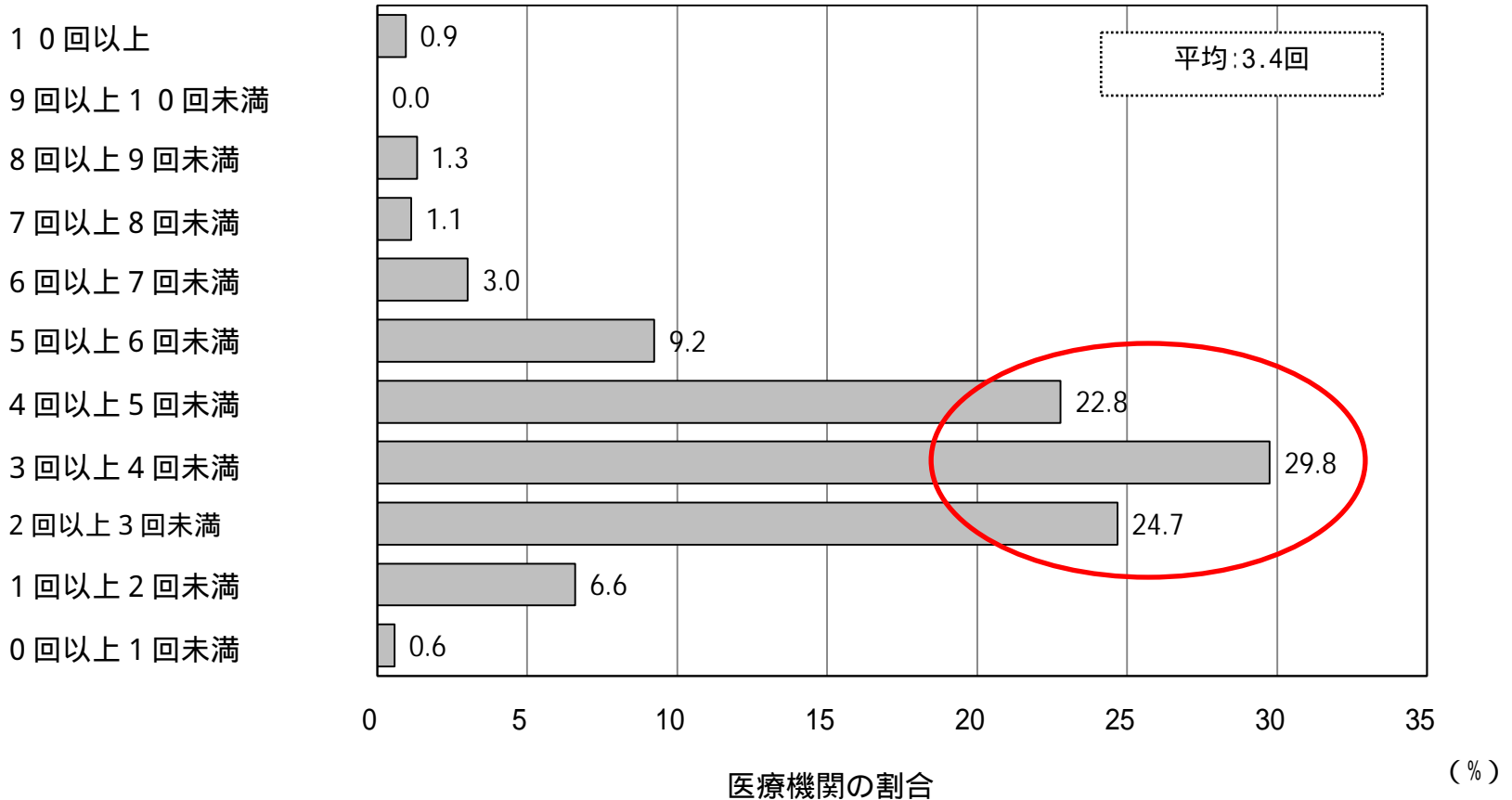
### 【技術の難易度】

- A：歯科医師の指導・監督下で歯科衛生士でも可能
- B：歯科医師であれば誰でも可能
- C：中程度の診療技術が必要とする
- D：やや高度の診療技術が必要とする
- E：さらに高度の専門的トレーニングを要する高い技術が必要とする

（日本歯科医学会「歯科診療行為のタイムスタディー調査」及び医療課調べ）

## 新たに製作した有床義歯の患者1人当たりの調整回数

(N=531)

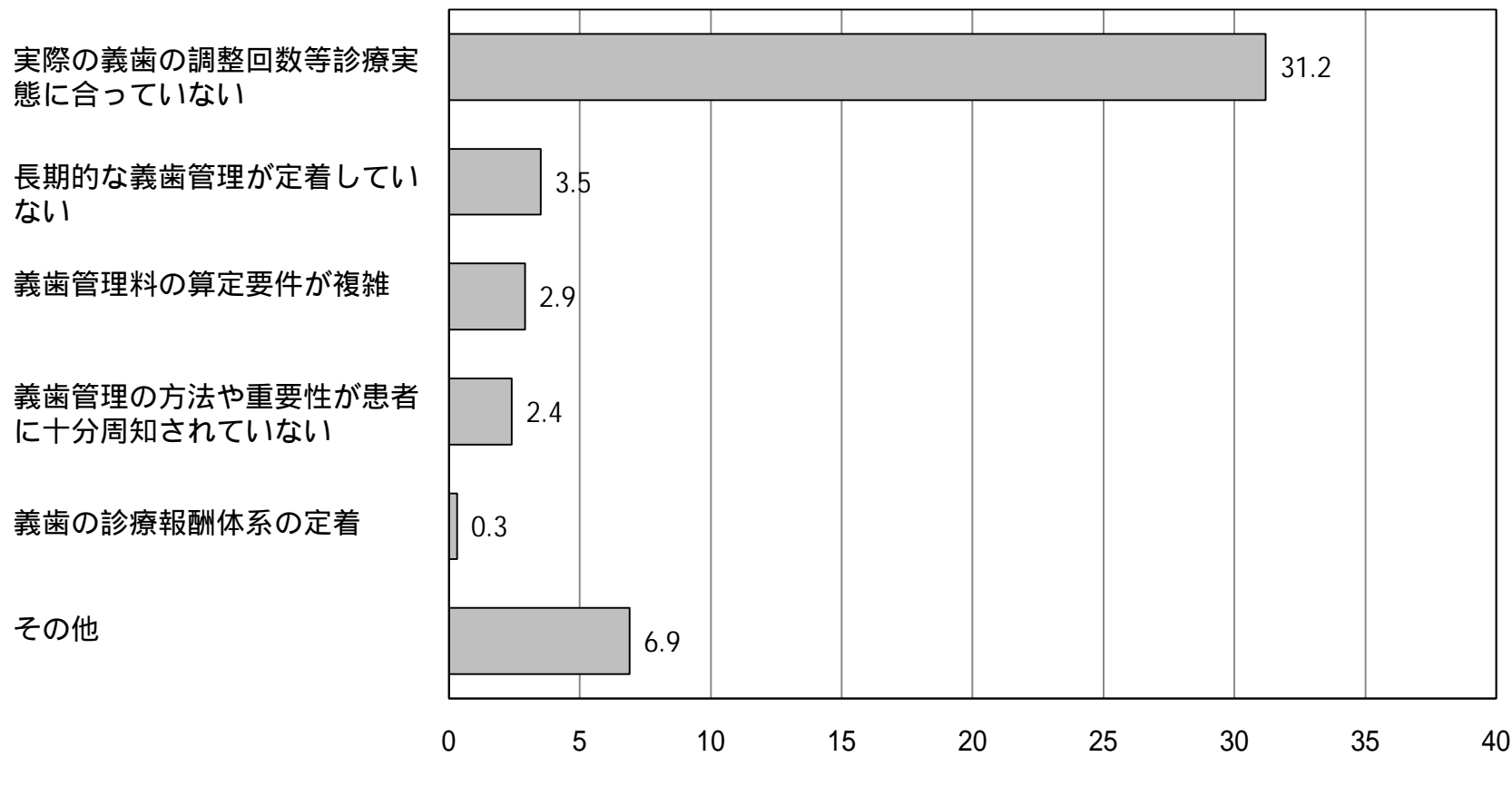


対象:有効回答のあった歯科医療機関577施設(調査票送付数:  
無作為抽出した632施設)のうち、新製有床義歯の調整を  
行ったこのとのある施設

(平成21年度医療課調べ)

## 義歯の管理を行う上での診療報酬上の課題（歯科医療機関；複数回答）

(N=263)

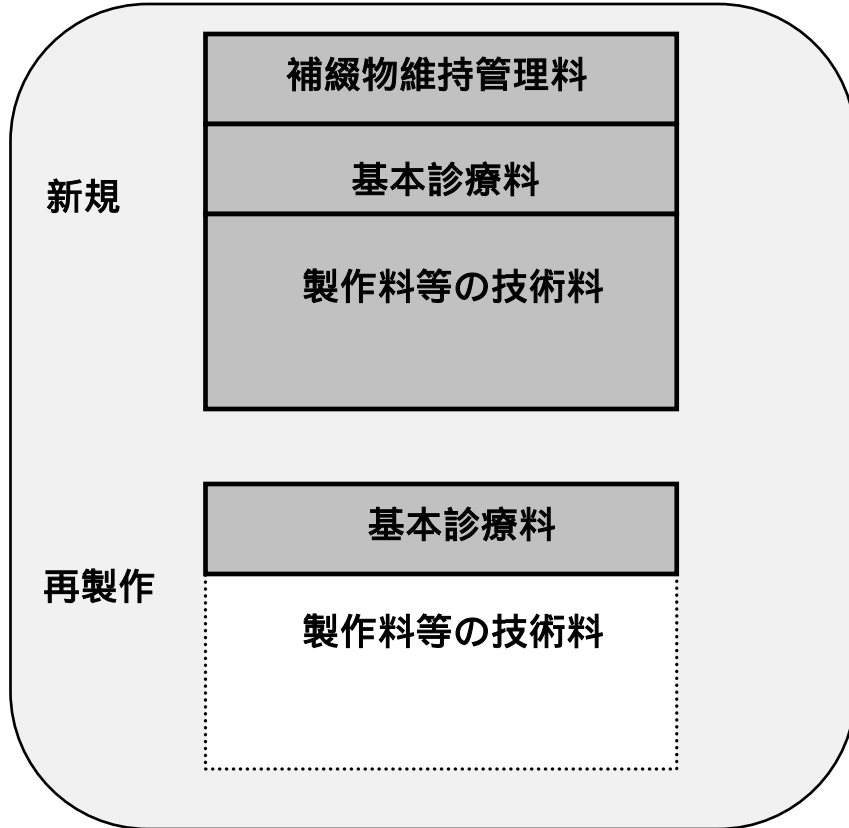


対象：有効回答のあった歯科医療機関577施設（調査票送付数：無作為抽出した632施設）のうち、義歯の管理の課題について回答のあった施設

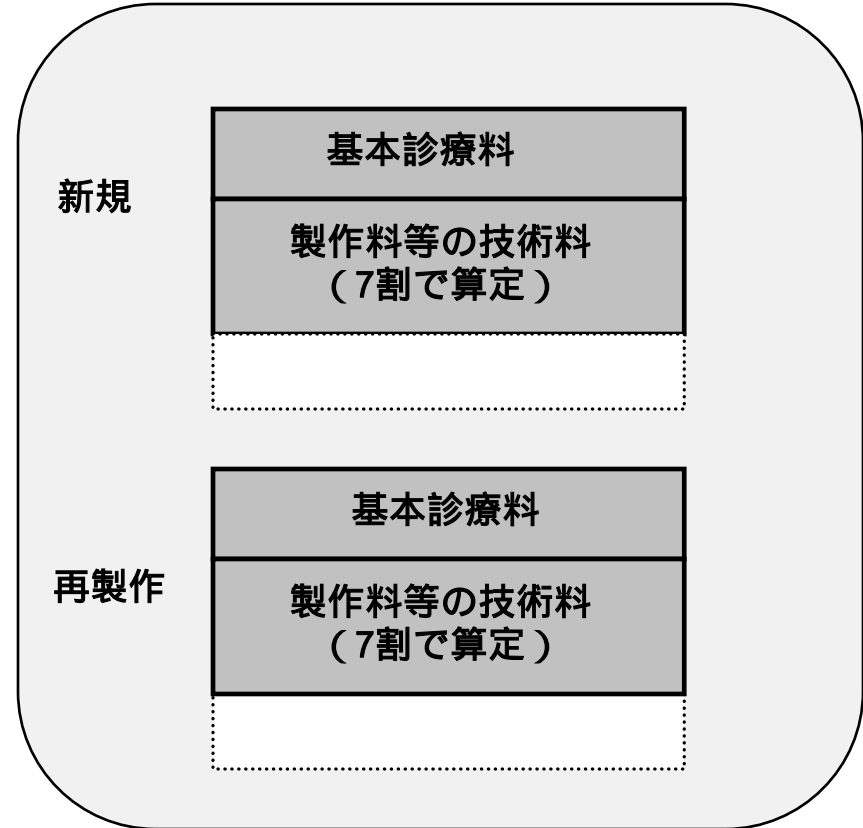
（平成21年度医療課調べ）

# 補綴物維持管理と2年以内のブリッジ等の再製作の考え方

【補綴物維持管理料を選択する場合】



【補綴物維持管理料を選択しない場合】



注1：補綴物維持管理を選択している場合においては、再製作は原則として実線の範囲内で算定する。

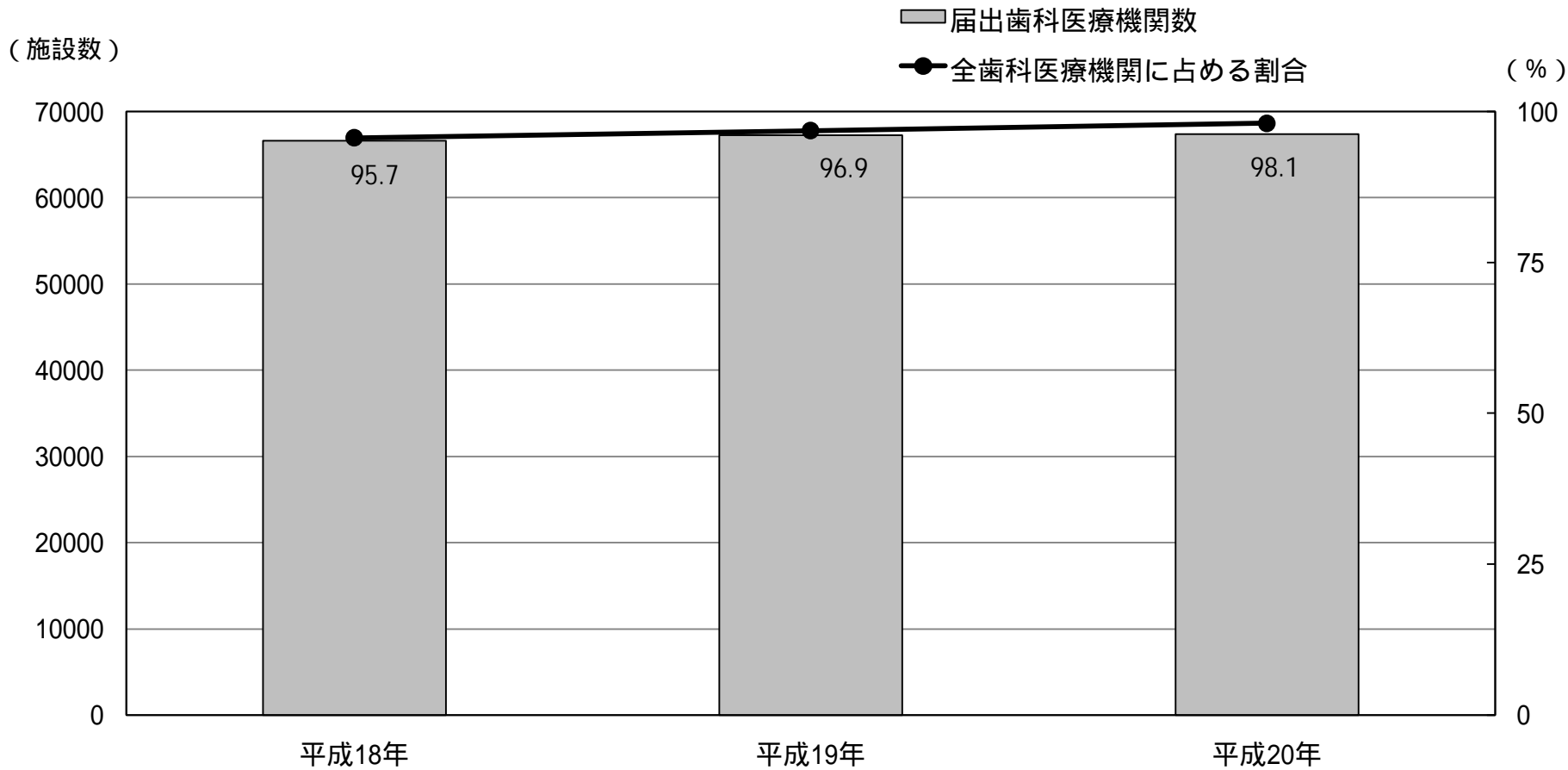
注2：補綴物維持管理を選択していない場合においては、すべて原則として実線の範囲内で算定する。

注3：製作料等の技術料は、特掲診療料として算定する一連の技術料である。

(補綴時診断、補綴関連検査、歯冠形成、支台築造、印象採得、咬合採得、試適、リテイナー、装着等)

(出典) 社会保険研究所発行「歯科用語の解説」より引用

# 補綴物維持管理料に係る届出状況



(医療課調べ)